

第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略

第2期(令和2年度～令和6年度)
総合戦略数値目標 及び 重要業績評価指標(KPI) 評価書

KPI(Key Performance Indicator)は、「ケーピーアイ」と読み、日本語では「重要業績指標」等と訳されるもの。

○ 第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略基本目標及び施策一覧	…	1	ページ
○ 第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略 5カ年の事業結果	…	2	ページ
(数値目標)			
○ 基本目標1 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する	…	3	ページ
○ 基本目標2 香南市とのつながりを強化し、新しい人の流れをつくる	…	7	ページ
○ 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育てをかなえる	…	8	ページ
○ 基本目標4 地域コミュニティの活性化を図り、安心・安全な地域をつくる	…	9	ページ
(重要業績評価指数)			
○ 基本目標1 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する	…	10	ページ
○ 基本目標2 香南市とのつながりを強化し、新しい人の流れをつくる	…	28	ページ
○ 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育てをかなえる	…	30	ページ
○ 基本目標4 地域コミュニティの活性化を図り、安心・安全な地域をつくる	…	33	ページ

令和7年6月

香 南 市

「数値目標等に対する客観的評価」の方法

○達成状況を客観的に評価できる目標について、以下により3段階評価を実施

区分	評価基準	
A (-)	総合戦略の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できたもの、または状況を改善できたもの	・数値目標を達成したもの 数値目標の達成率(または達成見込み率)が100%以上
B (-)		・数値目標をほぼ達成したもの 数値目標の達成率(または達成見込率)が60%以上100%未満
C (-)	数値目標の達成に向けて十分な進展が見られなかったもの 数値目標の達成率(または達成見込率)が60%未満	
	総合戦略の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できなかったもの、または状況を改善できなかったもの	

R6年度:66件 総合戦略数値目標 14 / 重要業績評価指標 (KPI) 基本目標 52

○重要業績評価指標の令和6年度の欄に、令和7年3月末の実績値を記載しています。

第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略基本目標及び施策一覧

基本目標1 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する		関係課
足腰を固め、「地力」を高める	(1) 農業の振興	農林水産課
	(2) 林業の振興	農林水産課
	(3) 水産業の振興	農林水産課
	(4) 農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化	農林水産課
新たな産業づくりに挑戦する	(1) 商工業の振興	商工観光課
	(2) 観光のまちの育成	商工観光課
	(3) 観光拠点形成とネットワーク構築	商工観光課
分野を超えた産業間の連携を強化する	(1) 6次産業化による新産業の創出と地産地商の徹底	商工観光課 香我美支所
連携する計画 【 産業振興計画 】		

基本目標2 香南市とのつながりを強化し、新しい人の流れをつくる		関係課
移住・定住のための体制を強化する		住宅政策課 地域支援課
連携する計画 【 産業振興計画 人生支援に関する個別計画 】		

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		関係課
人生をトータルでサポートする体制づくり		企画財政課 地域支援課
子ども、子育て支援・環境の充実支援		企画財政課 こども課 生涯学習課
連携する計画 【 人生支援に関する個別計画 】		

基本目標4 地域コミュニティの活性化を図り、安心・安全な地域をつくる		関係課
協働のまちづくりの推進		地域支援課
災害に強いまちづくり		防災対策課 住宅政策課
交流人口拡大		企画財政課 各支所 地域支援課

第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略 5カ年の事業結果

... 5年間の取り組みでC判定のもの

... B評価だが直近でC評価が続いているもの等

			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終結果
1	基本目標1	新規就農者数	A	B	A	B	B	B
2		間伐面積	A	B	B	C	A	B
3		沿岸漁業総生産額	A	B	B	B	A	B
4		商業者数	B	A	A	A	B	B
5		新規事務系企業数	C	C	C	C	C	C
6		製造品出荷額	B	A	A	C	-	B
7		新規雇用者数	A	A	B	B	B	A
8		観光施設入込客数	B	B	B	B	B	B
9	基本目標2	人口の社会増減	C	A	A	C	C	B
10		県外からの移住者組数	B	B	B	B	A	B
11	基本目標3	婚姻件数	B	B	B	B	B	B
12		合計特殊出生率	A	B	B	B	B	B
13	基本目標4	地域活性化総合補助金活用自治会数	B	B	B	B	B	B
14		香南市みんなで備える防災総合補助金活用組織数	B	B	B	B	B	B
1	基本目標1	耕作条件改善事業実施地区	A	B	B	B	A	B
2		施設園芸ハウス整備件数	C	B	B	C	C	C
3		環境制御技術導入施設件数	B	B	C	B	C	B
4		有害鳥獣捕獲数	A	B	A	C	A	A
5		境界明確化面積	A	A	A	A	A	A
6		木育イベント開催数	B	B	A	A	A	A
7		漁港施設の保全・改修整備率	B	B	B	A	A	A
8		沿岸漁業総生産量	A	B	B	C	B	B
9		新規漁業就業者数	A	A	A	A	C	A
10		学校給食への市内産野菜の使用率	A	B	B	C	C	C
11		給食センターへの食材納入回数(シイラ)	A	A	A	A	A	A
12		給食センターへの食材納入回数(かちり)	B	B	A	A	C	B
13		山北みかん(加工用)販売額	A	C	A	B	B	B
14		二才販売額	B	B	B	A	A	B
15		高知県漁業手結支所の販売額	B	B	A	C	C	B
16		企業誘致件数	B	C	A	C	C	C
17		商談件数	B	C	A	A	A	A
18		商店街振興計画の策定	-	-	-	B	B	B
19		空き店舗の新規活用件数	C	C	C	A	A	B
20		創業者数	A	C	A	A	B	A
21		イベント集客数(8イベント)	C	C	C	B	C	C
22		サイクリングイベント開催数(回)	C	C	B	C	C	C
23		サイクリングイベント開催数(人)	C	C	C	C	A	C
24		観光協会HPアクセス数	A	A	A	A	A	A
25		新たな観光拠点の形成	-	-	A	A	A	A
26		旅行商品造成数	C	C	A	A	A	A
27		主要観光施設入込客数	C	B	B	B	B	B
28		ヤ・シイ特産品売上金額	C	C	C	C	C	C
29		市内3施設集客数	B	B	B	B	B	B
30		集落活動センターでの特産品開発数	C	C	A	A	B	B
31		まるとご市参加事業所数	A	A	A	A	A	A
32	基本目標2	移住推進HP アクセス数	A	A	A	A	A	A
33		新築住宅取得支援事業活用件数	-	-	-	C	B	C
34		住宅リフォーム助成額	B	A	A	B	B	B
35		空き家バンク新規登録数	A	B	C	A	C	B
36	基本目標3	ワーキングホリデー参加者数	A	A	C	B	B	B
37		人生支援に関する新提案事業数	A	A	A	B	B	A
38		出会いの場の開催回数	C	B	B	C	C	C
39		三世代交流事業参加者数	C	C	-	B	B	C
40	基本目標4	総合子育て支援センター利用者数	A	B	B	A	A	A
41		子育てサイトへのアクセス数	B	A	A	A	A	A
42		保育所の一時預かり者数	A	B	B	C	C	B
43		懇談会・出前講座参加者数	A	B	B	B	B	B
44	基本目標4	自治会結成率	C	C	B	C	C	C
45		耐震診断件数	B	B	B	B	B	B
46		備蓄率	A	A	B	B	B	A
47		自主防災組織結成率	B	B	B	B	B	B
48		避難所運営マニュアルの作成	A	A	A	A	A	A
49		香南市総合防災訓練参加者数	B	B	B	B	B	B
50		集落活動センター設立数	A	A	A	B	B	B
51		地域活動団体の育成数	C	C	B	B	C	C
52		連携事業数	A	A	A	C	B	B
		全事業数	63	63	63	66	65	66
		A評価数	27	18	27	21	21	19
		B評価数	21	30	28	27	27	34
		C評価数	15	15	8	18	17	13
		-	3	3	3	0	1	0

p.4

△ p.7

△ p.8

p.10

p.15

△ p.17

p.18

p.21

p.21

p.21

p.26

p.28

p.30

p.31

p.32

p.33

p.36

約80%の事業で

目標値をほぼ達成

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標 1 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する										
基本的方向		足腰を強め、「地力」を高める 新たな産業づくりに挑戦する 分野を超えた産業間の連携を強化する								
農 業	数値目標	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名
	新規就農者数 (人)	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		農林水産課
		9	10	7	11	8	9	45	B	【根拠及び実績】 根拠：市内耕作放棄地のうち、再生可能な放棄地の年間増加面積（過去7年の平均）を香南市の産地提案型の経営モデル面積で割り出して算出。
	年度ごとの到達目標値		10	10	10	10	10	50	90.0%	実績 県中央農業振興センターが公表する前年度新規就農者数。
	「数値目標等に対する客観的評価」		A	B	A	B	B			
	備 考	R元年度（H30.4/1～H31.3/31）：9人 R2年度（H31.4/1～R2.3/31）：10人 R3年度（R2.4/1～R3.3/31）：7人 R4年度（R3.4/1～R4.3/31）：11人 R5年度（R4.4/1～R5.3/31）：8人 R6年度（R5.4/1～R6.3/31）：9人								
	5年間の総括	第1期（H27年度～R元年度）から取り組んできた就農に向けた各種イベントへの参加や移住関係の取り組みとの連携を進めてきたことに加え、国や県による支援、補助制度では対象とならない「親元就農者のための農業後継者推進事業」やH30年度に整備した「実践型研修ハウスの運用」、「有害鳥獣対策を目的とした有害鳥獣駆除に対する報奨金制度」等、市独自の支援策に取り組んできたことで、新規就農者の確保に加え、既存農家の規模拡大や農地維持等にも貢献してきたと考える。 一方で、経営面や将来設計等の見通しがたてられず、就農に至らないケースもあることから、関係機関と連携、調整を図りながら、新規就農者の獲得につなげていく必要がある。 また、人口減少に伴う労働力の確保が難しい現状を補うためのデジタル機器の導入に躊躇される方が多いことや高齢化や資材高騰、取引価格の向上が図られない等の理由から離農される方も増えつつある。 第3期（R7年度～R9年度）では、引き続き国や県の補助事業を積極的に活用し、担い手の確保に努めるとともに、農業における省力化や収益性の向上による経営改善や農地維持に取り組むことで持続可能な農業の推進へとつなげていく。								
林 業	数値目標	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名
	間伐面積 (ha)	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		農林水産課
		34.57	25.4	39.5	35.9	29.2	85.1	215.1	B	【根拠及び実績】 根拠：第1期の実績値と同様の数値（130ha）を目標値に設定。
	年度ごとの到達目標値		25	40	50	65	51	231	93.1%	実績 緊急間伐総合支援事業・森林管理制度間伐委託事業の合計値
	「数値目標等に対する客観的評価」		A	B	B	C	A			
	備 考	緊急間伐総合支援事業費補助金の保育間伐において、森林環境譲与税を活用した100%補助事業を新設し事業を実施。 R4年度：保育間伐（夜須町沢谷・羽尾、香我美町舞川）16.61ha、搬出間伐（香我美町舞川）19.26ha実施済み（事業主体：物部森林組合、香美森林組合） R5年度：29.2ha（保育・搬出間伐を実施） R6年度：85.1ha（保育・搬出間伐を実施）								
	5年間の総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、業務量が縮小されていた香美森林組合に対し、市独自の支援事業を実施したことにより、R2年度からR4年度は、間伐面積を伸ばすことができた。・また、申請時期の関係により、R5年度に申請できていなかった分については、R6年度にて申請を行うことができたため、R6年度については、目標数値を大きく上回る結果となった。 森林環境の保全に向けた取り組み、意向調査、森林管理制度森林境界明確化を実施し、林業事業者と連携し、各所有者の意向を集積したのち、森林境界明確化にて境界確定に努め境界確定を行った林班等での間伐事業（保育間伐・搬出間伐）を実施し、森林の持つ公益的機能（水源かん養機能・減災機能・生態系保全機能 等）の維持・増進に繋げることができた。 啓発・普及への取り組みでは、木育イベントや保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施、香南市の森からの贈り物事業等を行い、小さな頃から木の良さを五感で感じてもらいながら、木に親しみを持つ機会を設けることができた。								

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標 1 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する											
基本的方向		足腰を強め、「地力」を高める 新たな産業づくりに挑戦する 分野を超えた産業間の連携を強化する									
水産業	数値目標	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名	
	沿岸漁業総生産額 (百万円)	30年度 358	R2年度 290	R3年度 254	R4年度 253	R5年度 241	R6年度 315	第2期 1,353		農林水産課	
	年度ごとの 到達目標値		285	290	295	300	305	1,475	91.7%	【根拠及び実績】 根拠：H24～30年度までの最大値・最小値を除いた生産額平均値に伸び率(10%)を考慮して算出。 実績 高知県漁協各支所(手結・赤岡・吉川)及び法人経営体の生産額。	
	「数値目標等に対する 客観的評価		A	B	B	B	A				
	備 考	【三港(赤岡・手結・吉川)の生産量】 R2年度：生産量は前年比91.0%と減少、漁獲高は前年比92.0% R3年度：生産量は前年比69.0%と減少、漁獲高は前年比88.0% R4年度：生産量は前年比85.0%と減少、漁獲高は前年比99.6% R5年度：生産量は前年比63.0%と減少、漁獲高は前年比95.0% R6年度：生産量は前年比190.0%と減少、漁獲高は前年比131.0% 【三港の漁獲高】 R2年度＝2億9000万円 R3年度＝2億5352万円 R4年度＝2億5300万円 R5年度＝2億4100万円 R6年度＝3億1525万円									
	5年間の総括	漁港施設の長寿命化事業により生産基盤の維持に努め、水産施設は漁業関係者と協議し老朽化した施設の改修や修繕を実施し、円滑な漁業活動を維持することや漁船導入事業では、(一社)高知県漁業就業支援センター及び希望漁業者と連携し、事業実施に努めてきた。 また、流通・販売の強化では、浜値の向上や給食納入回数の増加により、目標値を上回ることができた。・担い手の確保では、(一社)高知県漁業就業支援センターとの連携し、フェアへの参加を行うことで、就業希望者の獲得や支援をすることができた。 しかし、各施設は建設後約40年以上経過し、補修や改修等がさらに増加することが見込まれるため、費用増大が懸念されるため、今まで以上に漁業関係者と協議を進める必要がある。・流通・販売の強化では、省力化・省コスト化につながるデジタル化の推進が必要がある。・また、香南市の漁業形態は単独での操業が難しいが、フェア等に参加し、漁家子弟や雇用型等の支援策を広く周知し、担い手の確保につなげていく。									
	商 業	数値目標	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名
		商業者数 (事業者)	30年度 813	R2年度 778	R3年度 777	R4年度 768	R5年度 770	R6年度 753	第2期 753		商工観光課
		年度ごとの 到達目標値		813	773	768	763	758	758	99.3%	【根拠及び実績】 根拠：R2年度の実績を基準値として、商業者減少数が、過去6年間の平均(8者)を下回ろう、R3年度に再設定。 実績 香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)F～O・Q・Rに分類される事業所数
		「数値目標等に対する 客観的評価		B	A	A	A	B			
備 考		商工会での集計・公表がなされた数字。									
5年間の総括		商工会や金融機関等の関係機関とも連携した、空き店舗等対策事業費補助金・創業支援利子補給金等に取り組むことで、新規創業者に対する支援や市内の空き店舗活用にも寄与することができた。・既存事業者に対しては、保証料補給金事業や各種セミナーの開催、コロナ禍における各種給付金事業等、事業継続に繋がる支援策に取り組むことができた。 また、地場産品販売促進事業(カタログギフト及びふるさと応援寄附金)において、新規事業者の参画、新商品や季節商品の開拓・充実による、新規顧客やリピーターの獲得を図ったほか、住宅リフォーム補助金の活用を推進したことで、事業者の売上拡大に繋げることができた。 事業者数については、新型コロナウイルス感染症の5類移行等の影響もあり、特にR5年度中の創業者が多く、一定維持ができていたが、R6年度末には大幅な減となっている。・今後も、空き店舗の有効活用も見据えた新規創業を推進していくのみでなく、既存事業者が廃業に至らないよう、商工会や事業承継・引継ぎ支援センター等の関係機関とも連携しながら、地域経済の活性化に繋がる取り組みを引き続き継続していく。									
商 業		数値目標	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名
	新規事務系 企業数 (企業)	30年度 -企業	R2年度 1	R3年度 0	R4年度 1	R5年度 1	R6年度 0	第2期 3	商工観光課		
	年度ごとの 到達目標値		2	2	2	2	2	10	30.0%	【根拠及び実績】 根拠：求人希望の多い事務系職種の企業誘致を行い若年増の地域定着や移住、U・I・ターンの促進と新しい経済循環や空き店舗減少に取り組む。 実績：香南市内の空き店舗を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数。	
	「数値目標等に対する 客観的評価		C	C	C	C	C				
	備 考	R2年度：合同会社NGS(R2.4.1道の駅やすE棟へ開設) R3年度：新規事務系企業数は0企業 R4年度：ヤフー(株)高知センターの移設(R4.9.26) R5年度：イシン(株)高知オフィスの新設(R5.4.1) R6年度：-									
	5年間の総括	H30年に包括連携協定を締結したイシン株式会社と連携した取り組みを継続しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、働き方に変化が生じたこと等も影響している。									

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標 1 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する										
基本的方向		足腰を強め、「地力」を高める 新たな産業づくりに挑戦する 分野を超えた産業間の連携を強化する								
工 業	数値目標	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名
	製造品出荷額 (億円)	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		商工観光課
		401	344	380	295	387	-	1,406 R2-R5実績	B	【根拠及び実績】 根拠：令和元年度工業統計調査結果(速報)の製造品出荷額に、令和2年度以降に操業開始を予定している企業の見込額と今後の支援策による増加を見込んで設定。
	年度ごとの 到達目標値		360	380	400	420	440	1,560 R2-R5実績	90.1%	実績：工業統計調査(調査年は前年度製造品出荷額)。令和4年に工業統計調査が廃止され経済構造実態調査に包摂された。
	「数値目標等に対する 客観的評価		B	A	B	B	-			
	備 考	R2年度：R2工業統計調査(H31.1.1～R1.12.31) R3年度：R3経済センサス活動調査(R2.1.1～R2.12.31) R4年度：R4工業統計調査(R3.1.1～R3.12.31) R4年度：R4経済構造実態調査(R3.1.1～R3.12.31) R5年度：R5経済構造実態調査(R4.1.1～R4.12.31) R6年度：R7.4.1現在未公表のため、第2期実績は4か年の合計とする								
	5年間の総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、不織布や包装等の需要が高まったことによる新ライン増設に伴う雇用増等から大きく数字を伸ばした。 一方で、製造品出荷額は、統計上のミスが原因であると考えられるが、R4年度が前年度比 85億円と大幅に減少しており、その影響もあって、目標値は達成できていない。								
工 業	数値目標	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名
	新規雇用者数 (人)	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		商工観光課
		-人	21	29	17	11	9	87	A	【根拠及び実績】 根拠：市内立地企業の事業計画に基づく予定雇用者数の内、市在住の新規雇用率70%を見込んで設定。
	年度ごとの 到達目標値		5	8	19	16	15	63	138.1%	実績：市内立地企業に新たに雇用された市在住の人数。
	「数値目標等に対する 客観的評価		A	A	B	B	B			
	備 考	R3年度：立地企業の新ライン増設に伴う雇用増 R4年度：R3年度に立地企業による雇用の前倒しがあり、R4年度雇用人数減 R5年度：市内立地企業における新規雇用者数に大きな変化はないが、市在住の人数減 外国人雇用は数字に入らないため。 / 参考：外国人雇用数 18名(2社) R6年度：新規雇用者数は減少しているが、企業が必要としている雇用者数は増加傾向にあり、人口が減少している中、人材確保が課題								
	5年間の総括	事業者数については、新型コロナウイルス感染症の5類移行等の影響もあり、特にR5年度中の創業者が多く、一定維持ができていたが、R6年度末には大幅な減となっている。 今後も、空き店舗の有効活用も見据えた新規創業を推進していくのみでなく、既存事業者が廃業に至らないよう、商工会や事業承継・引継ぎ支援センター等の関係機関とも連携しながら、地域経済の活性化に繋がる取り組みを引き続き継続していく。								

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標 1		魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する									
基本的方向		足腰を強め、「地力」を高める 新たな産業づくりに挑戦する 分野を超えた産業間の連携を強化する									
観 光	数値目標	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名	
	観光施設入込客数 (万人)	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		商工観光課	
		105.9	90.7	96.2	102.2	101.8	98.3	489	B	【根拠及び実績】 根拠：観光庁の「観光入込客統計に 関する共通基準」に該当する市内10 施設。 実績：暦年集計。	
	年度ごとの 到達目標値		107	110	114	117	121	569	86.0%	対象施設(10施設)： のいち動物公園 月見山こどもの森 ヤ・シバパーク 絵金蔵 天然色市場 やすらぎ市 あぐりのさと 黒潮温泉 創造広場「アクトランド」 土佐カントリークラブ	
	「数値目標等に対する 客観的評価		B	B	B	B	B				
	備 考	R2年度 のいち動物公園(148,066)・月見山こどもの森(26,181)・ヤ・シバパーク(297,842) 絵金蔵(3,806)・天然色市場(0)・やすらぎ市(206,573)・あぐりのさと(19,555) 黒潮温泉(87,636)・創造広場「アクトランド」(57,136)・土佐カントリークラブ(60,998) R3年度 のいち動物公園(186,103)・月見山こどもの森(30,631)・ヤ・シバパーク(290,526) 絵金蔵(3,098)・天然色市場(25,064)・やすらぎ市(204,603)・あぐりのさと(17,236) 黒潮温泉(87,978)・創造広場「アクトランド」(55,159)・土佐カントリークラブ(62,257) R4年度 のいち動物公園(205,675)・月見山こどもの森(28,248)・ヤ・シバパーク(294,788) 絵金蔵(5,980)・天然色市場(40,963)・やすらぎ市(202,837)・あぐりのさと(16,124) 黒潮温泉(100,597)・創造広場「アクトランド」(59,750)・土佐カントリークラブ(67,970) R5年度 のいち動物公園(209,794)・月見山こどもの森(22,940)・ヤ・シバパーク(289,455) 絵金蔵(8,063)・天然色市場(33,361)・やすらぎ市(204,559)・あぐりのさと(14,077) 黒潮温泉(115,018)・創造広場「アクトランド」(57,181)・土佐カントリークラブ(63,796) R6年度 のいち動物公園(189,459)・月見山こどもの森(22,483)・ヤ・シバパーク(284,215) 絵金蔵(8,496)・天然色市場(32,260)・やすらぎ市(199,324)・あぐりのさと(13,678) 黒潮温泉(124,377)・創造広場「アクトランド」(48,614)・土佐カントリークラブ(60,120)									
	5年間の総括	SNS を活用したタイムリーな情報発信により、継続的に情報を受け取るフォロワー数を増やすことができている。 また、HP の改修や SNS からの誘導、特設サイト作成により、観光情報やキャンペーン等をわかりやすく伝えることが できている。 しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により、外国人観光客の渡航制限等があり、R2年度より観光施設入込客 数が大幅に減少した。 R4年度より回復が図られてきているが、猛暑や南海トラフ地震臨時情報の発表により、屋外施設や沿岸部の施設 での入込客数が減少したことなどが影響したことからコロナ禍以前の推移には戻せていない。 ニーズに応じた情報発信を継続して行いながら、各観光施設や飲食店等がそれぞれの強みを活かして連携して取り 組むことができる機会を確保し、周遊促進・滞在延長、リピーターの獲得につなげるための取り組みを検討してき たことから、具現化に向けて整理を進めていく。 また、増加している外国人観光客やターゲット層とするファミリー層の受入体制の強化が必須であり、旅前、旅中の 情報収集がしやすい環境や旅中における満足度向上のための研修や環境整備を行っていく。									

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標 2 香南市とのつながりを強化し、新しい人の流れをつくる										
基本的方向		移住・定住促進のための体制を強化する								
移住・定住	移住・定住	数値目標	基準値	実績値				最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名
		人口の社会増減 (人)	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		企画財政課
		21	66	149	269	4	23	511	B	<small>【根拠及び実績】</small> <small>根拠：香南市人口ビジョン</small> <small>実績：人口動態調査(住民基本台帳)</small>
		年度ごとの 到達目標値		155	143	128	115	115	656	77.9%
		「数値目標等に対する 客観的評価」		C	A	A	C	C		
		備 考	R2年度 ... 1,274(転入) - 1,208(転出) = 66 R3年度 ... 1,320(転入) - 1,171(転出) = 149 R4年度 ... 1,511(転入) - 1,242(転出) = 269 R5年度 ... 1,270(転入) - 1,266(転出) = 4 R6年度 ... 1,304(転入) - 1,281(転出) = 23							
		5年間の総括	<p>当市では野市町において宅地開発が進んでおり、市全体では社会増の傾向にある。</p> <p>R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響や物価・資材の高騰等により住宅の建築にも影響が及んだが、その分、R3年度にまとまった転入があった。・R4年度には、新型コロナウイルス感染症が5類となったことで国内外の移動が再開されたことが影響し、これまで自宅にしながら授業や仕事を受けていた大学生や社会人の転入出や外国人実習生の受入れの再開等により、大きく転入数が増加した。</p> <p>R5年度以降の転入出数はコロナ以前と大きく変わりはなく、1,200人～1,300人程度で推移しており、かろうじて社会増となっている。</p> <p>R7年度以降も、一定宅地開発とそれに伴う新築件数は増加することが見込まれるが、土地は有限であり、宅地開発による転入は近い将来なくなるものと捉えておく必要もある。</p> <p>国全体の人口はさらに減少することが見込まれていることから、これまでの様々な取り組みも行いながらも、市民が今後も安心・安全に暮らしていけるまちづくりを進めることが求められていることから、当市の魅力を活用した、選ばれるまちとしていくことや地域や産業の担い手である若者の定着等に向けて取り組んでいく必要がある。</p>							
移住・定住	移住・定住	数値目標	基準値	実績値				最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名
		県外からの移住者 (組)	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		地域支援課
		29	31	28	31	32	43	165	B	<small>【根拠及び実績】</small> <small>根拠：香南市人口ビジョン</small> <small>実績：移住相談窓口を通して県外より移住した数</small>
		年度ごとの 到達目標値		32	34	36	38	40	180	91.7%
		「数値目標等に対する 客観的評価」		B	B	B	B	A		
		備 考	【移住相談窓口を通して県外より移住した実績】 R元年度：29組 39人、R2年度：31組 50人 R3年度：28組 42人、R4年度：31組 45人 R5年度：32組 45人、R6年度：43組、55人 県への報告は従来とカウント方法が変更となったため 156組185人。							
		5年間の総括	住環境が整備されることで移住者数の増加につながる傾向がある。 新型コロナウイルス感染症の影響により、対面式のフェアの中止が続いたが、いち早くオンラインによる相談窓口を開設した。 R6年度は南国市・香南市合同でオンライン移住相談会を開設し、来高しなくても地域の良さを伝えることができた。							

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI) 評価書

基本目標 3		若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる									
基本的方向		「人生」をトータルでサポートする体制づくり 子ども・子育て支援・環境の充実支援									
人生支援	数値目標	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名	
	婚姻件数 (件)	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	B 75.8%	企画財政課 〔根拠及び実績〕 根拠：過去8年間（H22-29）の平均に10%の伸び率を見越してR6年度を設定。 実績：高知県健康づくり支援システム（人口動態調査）	
		139	130	106	104	115	105	560			
	年度ごとの到達目標値		142	145	148	151	153	739			
	「数値目標等に対する客観的評価		B	B	B	B	B				
	備 考	〔厚生労働省人口動態統計：高知県健康づくり支援システムより〕 報告数値は前年暦年数値 R2年度：H31年1月1日から12月31日までに届け出された婚姻数。 R3年度：R2年1月1日から12月31日までに届け出された婚姻数。 R4年度：R3年1月1日から12月31日までに届け出された婚姻数。 R5年度：R4年1月1日から12月31日までに届け出された婚姻数。 R6年度：R5年1月1日から12月31日までに届け出された婚姻数。									
	5年間の総括	新型コロナウイルス感染症以前の婚姻数は約130件で推移してきたが、コロナ禍では、テレワークの普及等、職場環境の変化が生じたことによる「出会いの場の減少」が進んだことや所得の向上が図られない傾向が続いていたこと等から、「一生結婚するつもりのない人の割合」は男女ともにコロナ禍以後上昇傾向にある。 また、初婚・再婚問わず、出会いから結婚までの期間は長期化している傾向にあり、若い世代の結婚に対する慎重さが増していると考えられている。 一方で、新たな出会いの場として、アプリやSNS等の活用が普及、定着していることから、それらの活用を含めた支援策を講じることも必要と考える。 ただし、本県では人口減少とともに、若い世代の流出に歯止めがかかっていない状況であり、出会いの場の創出事業を、市町村毎に取り組むには限界があることから、県一事業として取り組んでもらいたい意向を引き続き県へ伝えていく考えである。									
子ども子育て	数値目標	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名	
	合計特殊出生率	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	B 90.7%	企画財政課 〔根拠及び実績〕 根拠：香南市人口ビジョン 実績：高知県健康づくり支援システム（人口動態調査）	
		1.58	1.65	1.53	1.63	1.63	1.56	1.56			
	年度ごとの到達目標値		1.64	1.66	1.68	1.70	1.72	1.72			
	「数値目標等に対する客観的評価		A	B	B	B	B				
	備 考	〔厚生労働省人口動態統計：高知県健康づくり支援システムより〕 報告数値は前年暦年数値（1～12月） R2年度：H31年1月1日から12月31日の合計特殊出生率。 R3年度：R2年1月1日から12月31日の合計特殊出生率。 R4年度：R3年1月1日から12月31日の合計特殊出生率。 R5年度：R4年1月1日から12月31日の合計特殊出生率。 R6年度：R5年1月1日から12月31日の合計特殊出生率。 出生数〔暦年〕： H30年（230人）、R元年（225人）、R2年（209人）、R3年（214人）、 R4年（211人）、R5年（194人）、R6年（185人）									
	5年間の総括	合計特殊出生率は、夫婦間の子どもの数ではなく、結婚・未婚関係なく15歳から49歳までの全女性の年齢別出生率を合計した指標である。 対象となる女性の数が多くなると、数値は小さくなることから、前年度と比較し下がっていることは、対象となる女性が増えている（流出が抑えられている、または、流入が増えている）と読み解ける部分もあり、一概に「悪くなった」と読み取れるわけではない。 この数値は「対象の全女性が産む子どもの数」であることから、婚姻件数の増加につなげることが、この数値を活かす重要な部分となるため、引き続き、出会い・結婚・子育て等の人生をトータルでサポートする各事業に取り組んでいく必要がある。									

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標 4 地域コミュニティの活性化を図り、安心・安全な地域をつくる											
基本的方向		協働のまちづくりの推進 災害に強いまちづくり 交流人口拡大									
協働の まちづくり	数値目標	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名	
	地域活性化総合 補助金 活用自治会数 (自治会)	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		地域支援課、各支所	
		85	84	84	83	83	83	83	B 87.4%	参考: 95自治会で100%結成率 設立数・・・87自治会 (H31.3.31現在) 設立数・・・87自治会 (R3.3.31現在) 設立数・・・87自治会 (R4.3.31現在) 設立数・・・87自治会 (R5.3.31現在) 設立数・・・88自治会 (R6.3.31現在) 設立数・・・88自治会 (R7.3.31現在) 内訳: 野市町.....32自治会 香我美町.....27自治会 夜須町.....11自治会 吉川町.....9自治会 赤岡町.....9自治会	
	年度ごとの 到達目標値		90	93	95	95	95	95			
	「数値目標等に対する 客観的評価		B	B	B	B	B				
	備 考	R2年度: 84 (補助金活用自治会数) / 90 (目標値) = 93.3% R3年度: 84 (補助金活用自治会数) / 93 (目標値) = 90.3% R4年度: 83 (補助金活用自治会数) / 95 (目標値) = 87.4% R5年度: 83 (補助金活用自治会数) / 95 (目標値) = 87.4% (内訳: 夜須9、赤岡9、吉川7、野市31、香我美27) R6年度: 83 (補助金活用自治会数) / 95 (目標値) = 87.4% (内訳: 夜須9、赤岡9、吉川7、野市31、香我美27)									
	5年間の総括	当市は、10年・20年先における地域社会を見据え、住民交流を通してコミュニケーションを深め、多様化する地域課題について、地域と行政が課題解決に向けて取り組む「協働のまちづくり」の推進を目的に自治会の結成を推進しており、95自治会の結成を目指している。 R6年度末の結成数は88自治会 (赤岡町 9、香我美町 27、野市町 32、夜須町11、吉川町9) となっており、地域活性化総合補助金活用自治体は83自治会となっている。 野市町では、近年、民間事業者による宅地開発が進み、新しい住宅団地が増加傾向にあるが、共働き世帯等が多く、近隣の世帯等との交流がないこと等から、自治会の必要性を感じない世帯も増えてきている。 一方で、人口が減少している中山間地域等では、地域間で、自治会の結成率は高いものの、新型コロナウイルス感染症や高齢化等の影響により、これまで取り組まれてきた地域イベント等の開催できない状況になる等、担い手不足の影響が生じており、課題の内容も変化してきている。 以上のことから、市では、これまでの取り組みを継続しつつも、若い世代のU・Iターン等の移住促進や空き家対策と連動した住居の確保、移住者を受け入れる地域の体制の強化等を進め、地域の新たな担い手(人)の流れを生み出していくことやSNS等のデジタルを活用した「必要な時につながり、頼り合える関係性」を築くための支援等を進め、市民が求める新たなコミュニティの在り方の実現につなげていく。									
防災に強い まちづくり	数値目標	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	担当部署名	
	香南市みんなで備える 防災総合補助金活用 組織数(組織)	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		防災対策課	
		91	99	95	102	102	102	102	B 88.7%	参考: 117組織で100%結成率 設立数・・・102組織 (H31.3.31現在) 設立数・・・99組織 (R2.3.31現在) 設立数・・・99組織 (R3.3.31現在) 設立数・・・99組織 (R4.3.31現在) 設立数・・・102組織 (R5.3.31現在) 設立数・・・102組織 (R6.3.31現在)	
	年度ごとの 到達目標値		115	115	115	115	115	115			
	「数値目標等に対する 客観的評価		B	B	B	B	B				
	備 考	R2年度: 99 (補助金活用組織数) / 99 (設立組織数) = 100.0% R3年度: 95 (補助金活用組織数) / 99 (設立組織数) = 95.9% R4年度: 102 (補助金活用組織数) / 102 (設立組織数) = 100.0% R5年度: 102 (補助金活用組織数) / 102 (設立組織数) = 100.0% R6年度: 102 (補助金活用組織数) / 102 (設立組織数) = 100.0%									
	5年間の総括	近年、初の南海トラフ地震臨時情報発表、南海トラフ地震発生確率80%程度への引上げ、線状降水帯の増加、台風や熱帯低気圧の活発化等により、いつ災害が起こっても不思議ではない状況である。 そのため、広く市民の方が参加できる防災・減災に関する講演会の開催や各種防災訓練の実施、自主防災組織活性化のため地域へ啓発、避難タワーの整備、避難所運営マニュアルの策定、食料・水・毛布等の備蓄を進めた。 今後も、市民、地域、行政の役割を明確にし、「自助・共助」を基盤とした防災・減災のまちづくりを推進し、多角的な視点から市民の意識向上や環境整備に取り組み、「いざという時に支え合える地域力」をさらに強化していく。									

第2期(令和2年度～令和6年度)総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標 1		魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する						1- (1)		
基本的方向		足腰を強め、「地力」を高める 農業の分野では、担い手の確保、生産基盤強化により、一次産品の安定生産の体制づくり、生産量増加、市の総生産額の増加へとつなげていきます。								
施策		(1)農業の振興								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)										
具体的な施策		農業生産基盤・防災対策の充実								
重要業績 評価指標 (KPI)	重要業績 評価指標 (KPI)	耕作条件改善事業 実施地区 (地区)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
			30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
			2	3	2	2	2	3	12	
		年度ごとの到達目標値		2	3	3	3	3	14	85.7%
		「数値目標等に対する客観的評価		A	B	B	B	A		
		備考	【耕作条件改善事業】 R2年度：東佐古地区(水路改修)・中ノ村地区(曾我堰、農道水路改修)・土居徳王子地区(地元調整) R3年度：中ノ村地区(曾我堰改修)・土居徳王子地区(地元調整) R4年度：土居徳王子地区(測量設計)・白岩地区(地元調整・採択決定) R5年度：土居・徳王子地区(水路改修工事・ゲート設置工事)、白岩地区(測量設計) R6年度：土居・徳王子地区(水路改修工事)、白岩地区(水路改修工事)、須磨地区(地元調整・採択決定)							
		5年間の総括	基盤整備実施後の地区において、経年劣化により機能維持が困難となった土地改良施設の再整備(用水路の改修やゲート設置等を行い、農業生産基盤の充実に寄与されている。また、本事業の要件でもある農地の集積を進めることで、今後に向けた担い手確保にもつながっている。							
		具体的な施策		経営改善、担い手対策の促進						
重要業績 評価指標	重要業績 評価指標	施設園芸ハウス整備 件数(件)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
			30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
			13	6	11	8	7	6	38	
		年度ごとの到達目標値		13	13	13	13	13	65	58.5%
		「数値目標等に対する客観的評価		C	B	B	C	C		
		環境制御技術導入 施設件数(件)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
			27-R1年度の平均	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
			23	21	21	10	24	11	87	
年度ごとの到達目標値		25	25	25	25	25	125	69.6%		
「数値目標等に対する客観的評価		B	B	C	B	C				
備考	【園芸用ハウス整備事業】 R2年度：規模拡大区分3件、流動化3件 R3年度：規模拡大区分5件、流動化3件、高度化2件、新規就農1件 R4年度：流動化3件、高度化3件、新規就農2件 R5年度：高度化区分1件、流動化区分3件、災害復旧区分3件 R6年度：高度化区分2件、流動化区分4件、災害復旧区分0件 【環境制御技術高度化事業】 名称変更：R5～【園芸用ハウス等リノベーション事業】 R2年度：21件(10経営体) R3年度：21件(15経営体) R4年度：10件(8経営体) R5年度：24件(16経営体) R6年度：11件(10経営体)									
5年間の総括	新規就農者、規模拡大等を行う園芸農家が園芸用ハウス整備事業を活用することにより、本市の主要作物の耕作面積が増え、農業生産性及び農業所得の向上に寄与してきた。また、環境制御技術等の導入も進んできたことで、省力化や収益性の向上に効果のある取り組みが実施できた。									

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI) 評価書

基本目標 1	魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する							1- -(1)		
基本的方向	足腰を強め、「地力」を高める 農業の分野では、担い手の確保、生産基盤強化により、一次産品の安定生産の体制づくり、生産量増加、市の総生産額の増加へとつなげていきます。									
施 策	(1)農業の振興									
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)										
具体的な施策		中山間農地の保全と活用の促進								
重要業績 評価指標		有害鳥獣捕獲数(7種) (頭数)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
			30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
			620	837	684	851	440	815	3,627	A
		年度ごとの到達目標値		635	735	735	735	735	3,575	
		「数値目標等に対する客観的評価		A	B	A	C	A		
		備 考	R元年度：イノシシ(300)・シカ(100)・カラス(28)・タヌキ(179)・ハクビシン(37)・アナグマ(13)・サル(0) R2年度：イノシシ(315)・シカ(170)・カラス(37)・タヌキ(206)・ハクビシン(81)・アナグマ(27)・サル(1) R3年度：イノシシ(285)・シカ(134)・カラス(20)・タヌキ(148)・ハクビシン(73)・アナグマ(23)・サル(1) R4年度：イノシシ(370)・シカ(174)・カラス(25)・タヌキ(162)・ハクビシン(74)・アナグマ(46)・サル(0) R5年度：イノシシ(91)・シカ(164)・カラス(25)・タヌキ(89)・ハクビシン(43)・アナグマ(27)・サル(1) R6年度：イノシシ(278)・シカ(220)・カラス(10)・タヌキ(63)・ハクビシン(75)・アナグマ(54)・サル(4)							
		5年間の総括	疥癬(かいせん)タヌキの出没や豚熱の影響等による環境の変化により捕獲数は増減を繰り返しており、農作物被害の相談や駆除の依頼が多い年は捕獲数も多く、捕獲数が少ない年では被害相談等も減る傾向があるため、目標の達成が必ずしも良いことではなく、その逆も然りといった状況にある。 狩猟者も高齢化が進んでおり、現時点では狩猟者の大きな増減はないものの、今後は被害相談に対応できるだけの担い手確保が課題である。							
担当部局名	農林水産課				評価・検証 実施時期		令和7年3月末			

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI) 評価書

基本目標 1	魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する							1- (2)	
基本的方向	足腰を強め、「地力」を高める 林業の分野では、生産性向上と森林の保全・活用に加えて、森林資源を活用した所得の向上と雇用の創出を図ります。								
施策	(2) 林業の振興								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策	森林の多面的な利活用の推進								
重要業績 評価指標	境界明確化面積 (ha)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		22.7	30.9	42.2	42.0	51.4	51.0	217.5	A
	年度ごとの到達目標値		25	40	40	40	40	185.0	117.6%
	「数値目標等に対する客観的評価		A	A	A	A	A		
	備考	R元年度：同意が得られた26.2haで事業を実施。 R2年度：森林管理意向調査対象森林の中から、森林境界明確化を実施。 R3年度：森林組合と委託契約し、夜須町仲木屋において事業を実施。 R4年度：R3年度に引き続き、夜須町仲木屋において事業を実施。 R5年度：夜須町沢谷において事業を実施。 R6年度：R5年度に引き続き、夜須町沢谷において事業を実施。							
	5年間の総括	目標値を越える範囲を継続して実施できている。 本事業は間伐を行う前段としての役割を担っているため、引き続き森林所有者への意向調査を行い、本事業の推進を図っていく。							
	具体的な施策	山や森林に親しむ機会の提供							
重要業績 評価指標	木育イベント開催回数 (回)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		未実施	10	12	13	14	16	65.0	A
	年度ごとの到達目標値		11	13	13	13	13	63.0	103.2%
	「数値目標等に対する客観的評価		B	B	A	A	A		
	備考	R2年度：市内の保・幼・小・中に出向き、森林学習、バードカーピング等の木工体験を10回実施。 R3年度：森林体験学習を8回実施。香南市の森からの贈り物事業（乳児211名）。市内保育所・幼稚園へ木製おもちゃの贈呈等。 R4年度：木育イベントを3回、森林体験学習を6回、イベントの周知を2回、森からの贈り物事業等を1回(乳児208名)。市内認定こども園等（7施設）へ木製おもちゃの贈呈を1回。 R5年度：木育イベント2回、保幼小中での森林体験学習9回、木育事業全般に係る周知活動1回、森からの贈り物事業1回（乳児198名） 市内の小・中学校に県産材を活用した木製備品を贈呈1回 R6年度：木育イベント2回、保幼小中での森林体験学習11回、木育事業全般に係る周知活動1回、森からの贈り物事業1回（乳児143名） 市内の小・中学校に県産材を活用した木製備品を贈呈1回							
	5年間の総括	市産材や県産材を使用した木製品等に触れる機会を増やすため上記の各種取り組みを実施してきたが、乳幼児からその保護者まで幅広い世代に参加いただけた。 出生から間もない段階で使ってもらえるファーストスプーンや小中学校において日頃から使用頻度の高い備品を木製にする等、自然な形で木に触れる機会の創出につながっているため、引き続き木育として推進していく。							
	担当部局名	農林水産課				評価・検証 実施時期		令和7年3月末	

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI) 評価書

基本目標 1		魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する						1- (3)		
基本的方向		足腰を強め、「地力」を高める 水産業分野では、生産基盤の充実や担い手確保の取り組み、他分野との連携等を推進し、経営力の強化や生産額の増加による魅力ある稼げる水産業を目指します。								
施策		(3)水産業の振興								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)										
具体的な施策		生産基盤の充実								
重要業績評価指標	漁港施設の保全、改修整備率 (実績施設数/計画施設数) (%)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		50.0	59.0	68.1	68.1	89.1	95.5	87.7 (5カ年平均)	A	
		年度ごとの到達目標値		64.0	73.0	77.0	82.0	86.0	86.0	102.0%
		「数値目標等に対する客観的評価		B	B	B	A	A		
		備考	R2年度: 6.5(実績施設数)/11(計画施設数) = 59.0% R3年度: 7.5(実績施設数)/11(計画施設数) = 68.1% R4年度: 7.5(実績施設数)/11(計画施設数) = 68.1% 浚渫を実施したが、一部であるため、整備率はR3年度から変更なし。 R5年度: 9.8(実績施設数)/11(計画施設数) = 89.1% R6年度: 10.5(実績施設数)/11(計画施設数) = 95.5%							
	5年間の総括	住吉漁港及び吉川漁港の水産基盤ストックマネジメント事業において、漁港施設の長寿命化工事を計画通り実施しており、今後も水産基盤ストックマネジメント事業を継続し、計画的に実施していくものの、補助事業であるため県等と協議して進めていく。								
具体的な施策		生産性の向上								
重要業績評価指標	沿岸漁業総生産量 (t)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		27-30年度の平均	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		934	1,182	821	698	440	835	3,976	B	
		年度ごとの到達目標値		1,085	1,085	1,085	1,085	1,085	5,425	73.3%
		「数値目標等に対する客観的評価		A	B	B	C	B		
	備考	【三港(赤岡・手結・吉川)の生産量】 R元年度: 1,298t (手結 696t・吉川 301t・赤岡 301t) R2年度: 1,182t (手結 607t・吉川 290t・赤岡 285t) R3年度: 821t (手結 249t・吉川 282t・赤岡 290t) R4年度: 698t (手結 432t・吉川 132t・赤岡 134t) R5年度: 440t (手結 239t・吉川 114t・赤岡 87t) R6年度: 835t (手結 561t・吉川 148t・赤岡 126t)								
5年間の総括	水産業は自然現象に左右されることが多く、海水温の上昇や黒潮大蛇行による黒潮の離岸等の影響により、R3年度以降シラの不漁が続いた。 特にR5年度はシラ及びイワシシラスも過去に例がないほどの不漁となった。 R6年度においては、シラも好漁となりイワシシラスも回復傾向となったものの、デジタル化等を用いて安定した操業ができるよう推進していく。									

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI) 評価書

基本目標 1	魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する						1- (3)		
基本的方向	足腰を強め、「地力」を高める 水産業分野では、生産基盤の充実や担い手確保の取り組み、他分野との連携等を推進し、経営力の強化や生産額の増加による魅力ある稼げる水産業を目指します。								
施策	(3)水産業の振興								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策	新規漁業就業者の確保(育成・支援)								
重要業績 評価指標	新規漁業就業者数 (人)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		0	1	2	2	1	0	6	A
	年度ごとの到達目標値		1	1	1	1	1	5	120.0%
	「数値目標等に対する客観的評価		A	A	A	A	C		
	備考	R2年度:吉川において、12月に1名短期研修を実施。1月より水産会社に雇用され、「雇用型漁業支援事業」を実施。 R3年度:R4年1月から1名、3月から1名の「漁家子弟支援事業」による支援を実施。 R4年度:R4年6月から1名、11月から1名の「雇用型漁業支援事業」による支援を実施。 R5年度:R5年12月より1名の「雇用型漁業支援事業」による支援を実施。 R6年度:R6は雇用型・漁家子弟支援事業の実施は出来なかった。							
	5年間の総括	本市の漁業形態は1人での操業は難しく、新規雇用は雇用型漁業支援事業や漁家子弟支援事業が主となり、R2年度から目標値は達成できていたが、R6年度はフェア等に参加し啓発を行ってきたものの要望はなかった。 今後も(一社)高知県漁業就業支援センターと連携をとりながら新規漁業就業者への支援を続けていく。							
担当部局名	農林水産課				評価・検証 実施時期		令和7年3月末		

第2期(令和2年度～令和6年度)総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標 1		魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する						1- - (4)		
基本的方向		足腰を強め、「地力」を高める 農業・水産業における加工、流通、販売体制を強化するために、農業、水産業における付加価値の向上を図るとともに、加工・流通・販売体制の強化、香南市ブランドの展開や販路拡大を図り、それぞれの産業における収益の増加を図ります。								
施策		(4) 農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)										
具体的な施策		地産地消の推進								
重要業績 評価指標	学校給食への市内産野菜(主要品目)の使用率(%)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		36.0	27.0	26.4	24.7	17.6	22.1	23.6 (5カ年平均)	C	
		年度ごとの到達目標値		40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	59.0%
		「数値目標等に対する客観的評価		B	B	B	C	C		
		給食センターへの食材納入回数 (上段:カチリ) 回 (下段:シイラ) 回	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
	30年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
	0 22		58 20	73 17	81 27	76 24	63 12	351 100	A B	
	年度ごとの到達目標値			16 22	20 23	60 23	60 24	60 24	216 116	163% 86%
	「数値目標等に対する客観的評価			A B	A B	A A	A A	A C		
	備 考		【学校給食への市内産野菜の使用率】年度末公表 R元年度: 34.0%、R2年度: 27.0%、R3年度: 26.4%、R4年度: 24.7% (重量ベース) R5年度: 17.6% (重量ベース)、R6年度: 22.1% (重量ベース) 【給食センターへの食材納入回数】 R2年度 かちりじゃこ こうなん給食センター 33回 ・ 赤岡吉川給食センター 25回 シイラ こうなん給食センター 6回 ・ 赤岡吉川給食センター 13回 ・ 市外1回 R3年度 かちりじゃこ こうなん給食センター 47回 ・ 赤岡吉川給食センター 26回 シイラ こうなん給食センター 2回 ・ 赤岡吉川給食センター 13回 ・ 市外2回 R4年度 かちりじゃこ こうなん給食センター 42回 ・ 赤岡吉川給食センター 39回 シイラ こうなん給食センター 8回 ・ 赤岡吉川給食センター 19回 R5年度 かちりじゃこ こうなん給食センター 42回 ・ 赤岡吉川給食センター 34回 シイラ こうなん給食センター 18回 ・ 赤岡吉川給食センター 6回 R6年度 かちりじゃこ こうなん給食センター 49回 ・ 赤岡吉川給食センター 14回 シイラ こうなん給食センター 6回 ・ 赤岡吉川給食センター 6回							
		学校給食への市内産野菜の使用率は、品目が多岐にわたることや必要量も多かったことから、各品目において全量をまかなうことができなかったが、可能な範囲で地産地消率の向上に努めてきた。 かちりじゃこについては、R2年度に給食センターへ納入できるよう調整を行った。 かちりじゃこは和え物等の複数の献立に使用されることから目標達成できた。 また、R6年9月に赤岡・吉川給食センターがこうなん給食センターへ統合されたため、若干納入回数は減少したものの目標達成できた。 シイラについては、栄養面や献立によっては使用できない年や月があった。 また、新型コロナウイルスの影響により養殖魚を優先して使用する動きも出てきたことに加え、R6年9月に赤岡・吉川給食センターがこうなん給食センターへ統合され納入回数が減少したことから、目標は達成できなかった。								
	5年間の総括									

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI) 評価書

基本目標 1	魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する							1- -(4)		
基本的方向	足腰を強め、「地力」を高める 農業・水産業における加工、流通、販売体制を強化するために、農業、水産業における付加価値の向上を図るとともに、加工・流通・販売体制の強化、香南市ブランドの展開や販路拡大を図り、それぞれの産業における収益の増加を図ります。									
施策	(4) 農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化									
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)										
具体的な施策	農産物のブランド化の推進									
重要業績評価指標	山北みかん(加工品)販売額(万円) R4年度まで【R5以降のKPI】 加工用みかん販売平均単価(円)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		534	564	241	647	31	30	30	B	
		年度ごとの到達目標値		550	570	600	32	34	34	88.2%
		「数値目標等に対する客観的評価		A	C	A	B	B		
	ニラ販売額(万円) JA以外の系統外出荷額の集計が困難のため、R5以降の目標値を下方修正	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		99,550	100,272	96,531	98,264	105,189	135,527	535,783	B	
		年度ごとの到達目標値		150,000	160,000	160,000	100,000	100,000	670,000	80.0%
		「数値目標等に対する客観的評価		B	B	B	A	A		
	備考	【山北みかん加工品販売額】 R5年度より、KPIを加工用みかんの販売平均単価(kg)へと変更 R2年度：ジュース売上24万円・バター売上540万円 R3年度：ジュース売上21万円・バター売上220万円 R4年度：ジュース売上647万円。バターは事業承継の準備期間のため加工・販売を一時中断。 【加工用みかん販売平均単価】 R5年度：31円(R4年度単価比較+1円) 【ニラ販売額は園芸年度(前年8月～7月)の販売金額】 R5年度より下方修正。								
	5年間の総括	本市を代表する品目のニラとミカンについてそれぞれで販売力強化、産地PR等で取り組みを進めてきた。 ミカンについては、農家所得の向上のため加工用ミカンが安価で取引されてきたことに着目し、加工品を推進してきたことで、山北みかんバターやジュースといった新たな商品も生まれた。加工用ミカンは販売単価が向上しており、農家所得の向上に寄与している。 日本一の産地であるニラに関しては、加工品に取り組んだこともあったが、青果としての販売体制が各所で確立されており、加工についての取り組みの難しさを感じた。系統外出荷への流出も多く、産地全体の販売額の把握が困難であることから目標を下方修正したが、そぐりセンターの積極的な活用や単価が向上したこともあり実績は上向いている。								

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI) 評価書

基本目標 1	魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する							1- (4)	
基本的方向	足腰を強め、「地力」を高める 農業・水産業における加工、流通、販売体制を強化するために、農業、水産業における付加価値の向上を図るとともに、加工・流通・販売体制の強化、香南市ブランドの展開や販路拡大を図り、それぞれの産業における収益の増加を図ります。								
施策	(4) 農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策	水産物のブランド化の推進								
重要業績評価指標	高知県漁協手結支所の販売額(万円)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		5,000	4,055	3,635	5,615	2,147	2,119	17,571	B
	年度ごとの到達目標値		5,100	5,200	5,300	5,400	5,500	26,500	66.3%
	「数値目標等に対する客観的評価		B	B	A	C	C		
	備考	R2年度：新型コロナウイルス感染症の影響により大口取引先との取引量が大幅に減少していたが、担当者の販路拡大の努力により、目標値の79.5%(前年度比75.5%)まで回復した。 R3年度：R3.7月に自動真空包装機を導入したことにより、冷凍フィレ等の出荷量が増加し、仲卸業者への販売が拡大。(R2：294千円 R3：1,583千円) R4年度：仲卸業者への冷凍フィレ出荷増 (R2:294千円 R3:1,583千円 R4:3,500千円) R5年度：過去に例のない不漁が影響し出荷量の確保ができないことが要因。 仲卸業者への冷凍フィレ出荷増 R5:470千円 R6年度：好漁であったため、1匹での購入する仲買人が多く、フィレ加工での販売が減少した。 (R2:294千円 R3:1,583千円 R4:3,500千円 R5:470千円 R6:550千円)							
	5年間の総括	県版HACCP取得や自動真空包装機をR2年度に導入し、販売額も伸びてきたものの、R5年度は記録的な不漁で販売額を伸ばすことができなかった。 R6年度は好漁であったが、水揚げが多い16月から8月に、他県で不漁となったことが影響し、県外からの仲買人等の購入等もあり、単価が向上したことから、漁業従事者の所得向上にはつながったものの、漁協としての落札件数が減少し、販売額は減少した。 R6年度はシイラの魚単が上がったため、取扱う量は減少したが、シイラの加工販売額としてはR5年度より増加した。							
担当部局名	農林水産課				評価・検証 実施時期		令和7年3月末		

基本目標 1	魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する	1- (1)							
基本的方向	【新たな産業づくりに挑戦する】 商工業の分野では、事務系の企業誘致や新規工業団地の整備、既存企業への育成支援、地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを推進する等、ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わいを創出します。 また、産業人材の育成・確保では、ハローワークや企業等、さまざまな分野との連携を強化し、就労機会の拡大に努めるとともに、県と連携し産業振興等につながる人材育成の実施を支援していきます。								
施策(1)	商工業の振興								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策	企業誘致の促進								
重要業績評価指標	企業誘致数 (件)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		1	2	0	2	1	1	6	C
	年度ごとの到達目標値		3	2	2	2	2	11	54.5%
	「数値目標等に対する客観的評価」		B	C	A	C	C		
	備考	新規事務系企業数 + 川谷刈谷工業用地への誘致 = 3件(R2) R2年度: 合同会社NGS (道の駅やすE棟 R2.4.1より) 株式会社タケナカダンボール(川谷刈谷地区工場用地【旧ルネサス東駐車場用地】) R3年度: 企業誘致数は0企業 R4年度: (株)ミットヨ(R4.11.1操業開始)、ヤフー(株)高知センター(R4.9.26操業開始) R5年度: イシン(株)(R5.4.1開所) R6年度: ㈱東海理化電気製作所(R7.4試験操業開始、R7.9本操業開始予定)							
	5年間の総括	企業立地促進事業費補助金の効果により、企業立地・活用に繋げることができた。 R5年度には、交付要件を満たした、(株)ミットヨ及び暁産業(株)への補助金交付に繋がった。 今後は立地企業に対しての用地取得の支援はもちろん、既存企業の支援についても積極的な取り組みが必要と考える。							
具体的な施策	企業の育成・支援								
重要業績評価指標	商談件数 (件)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		40	30	19	65	63	76	253	A
	年度ごとの到達目標値		50	50	50	50	50	250	101.2%
	「数値目標等に対する客観的評価」		B	C	A	A	A		
	備考	R2年度: 30件(工場視察商談会22件、県単独商談会8件) R3年度: 19件(工場視察商談会0件、県単独商談会19件) R4年度: 県内開催 21件(工場視察商談会7件、県単独商談会14件) 県外開催 44件(大阪9件、広島12件、香川14件、関西・四国合同9件) R5年度: 県内開催 44件(工場視察商談会8件、県単独商談会26件、四国モノづくり合同会10件) 県外開催 19件(大阪9件、関西・四国合同6件) R6年度: 県内開催 35件(工場視察商談会16件、県単独商談会19件) 県外開催 41件(大阪16件、関西・四国合同6件、四国モノづくり合同会19件)							
	5年間の総括	R2～R6の5年間で、県内外併せて253件の商談会を実施した。 R2・3年度はコロナの影響もあり対面での商談会の開催が難しく、目標件数の達成が出来ていないが、R4・5年度はコロナの影響が少なく、目標件数を大きく超える開催が出来、5年間の商談会開催数としては目標値を達成することができた。 商談会を通しての企業同士のマッチングは香南市の企業の受注拡大・販路拡大に大きく寄与することが予想され、今後も継続して行う必要がある。							

基本目標 1	魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する	1- (1)							
基本的方向	【新たな産業づくりに挑戦する】 商工業の分野では、事務系の企業誘致や新規工業団地の整備、既存企業への育成支援、地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを推進する等、ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わいを創出します。 また、産業人材の育成・確保では、ハローワークや企業等、さまざまな分野との連携を強化し、就労機会の拡大に努めるとともに、県と連携し産業振興等につながる人材育成の実施を支援していきます。								
施策(1)	商工業の振興								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策	魅力ある商業地・商店街づくり								
重要業績評価指標	商店街等振興計画の策定(回) [R5以降のKPI]計画に基づくイベント開催数	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		未策定	-	-	策定	2	2	4	B
	年度ごとの到達目標値		策定	策定	策定	3	3	6	66.7%
	「数値目標等に対する客観的評価		-	-	-	B	B		
	備考	R2年度：新型コロナウイルス感染症の影響により事業者支援等を優先したため、計画策定をR3年度へ見送った。 R3年度：県との協議、商工会理事会へ説明等を実施。新型コロナウイルス感染症の影響により経済対策事業を優先したため、当初のスケジュールから大幅に遅れ、協議会の立ち上げに至っていない。 R4年度：7月に協議会を立ち上げ、計3回の協議会及び計5回のワーキンググループを開催。第3回協議会にて「香南市中心市街地活性化計画」を策定。 R5年度：8月に計画エリア内のスイーツ店を巡るスタンプラリー、10月にフジグラン野市とコラボした市内事業者のPRイベントを開催。 R6年度：8～9月「スイーツスタンプラリー」の開催(前年度の反省点等を活かし、事業内容を一部拡充)、フジグラン野市とコラボした市内事業者のPR機会の創出(イベントと合わせた出店等)							
	5年間の総括	新型コロナウイルス感染症の影響による事業者支援事業等の優先により、当初の予定より遅れての着手とはなったが、R4年度に計画策定。その後、各取組のグループ毎に打合せ等を行い、R5・6年度において、回遊の仕組みづくりを目的とした「スイーツスタンプラリー」や、中心市街地の魅力向上を目的として、市内事業者のPR機会を設けた「フジグラン野市とのコラボ企画」を開催し、市内事業者の認知度向上に一定寄与することができた。 今後も、地域事業者を主体として、地域商業の活性化に繋げていけるよう取組を推進予定ではあるが、計画策定時より「実施主体」が課題となっており、補助金活用可能期間(R5～7)終了後における収支面での自立も含めて、実行体制の強化が必要。							
具体的な施策	空き店舗の活用								
重要業績評価指標	空き店舗の新規活用件数(件)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		1	0	0	1	3	3	7	B
	年度ごとの到達目標値		2	2	2	2	2	10	70.0%
	「数値目標等に対する客観的評価		C	C	C	A	A		
	備考	空き店舗等対策事業費補助金の件数でカウント R2年度：問い合わせが1件あったが、対象とならない業種であったため、利用には至らなかった。 R3年度：補助金に関する問い合わせが7件あったが、そのほとんどが初期段階の相談であったため、活用には至っていない。 R4年度：R3年度より相談のあった事業者による活用が1件あった(小売業(飲食サービス)) R5年度：R4年度より相談のあった事業者を含め、3事業者による活用あり(医療業、飲食業、生活関連サービス業) R6年度：3事業者による活用あり(飲食業：2件、理容業：1件)							
	5年間の総括	商工会とも連携した事業の紹介や、R3・4年度に実施した要綱改正の効果もあり、R4年度以降は活用実績が伸びている。今後も、市内空き店舗の有効活用及び創業を考えられている方の支援に繋がるよう、事業の広報を行うとともに、市内空き店舗情報の集約にも努めていくことで活用を推進していく。							

基本目標 1	魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する							1- -(1)	
基本的方向	【新たな産業づくりに挑戦する】 商工業の分野では、事務系の企業誘致や新規工業団地の整備、既存企業への育成支援、地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを推進する等、ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わいを創出します。 また、産業人材の育成・確保では、ハローワークや企業等、さまざまな分野との連携を強化し、就労機会の拡大に努めるとともに、県と連携し産業振興等につながる人材育成の実施を支援していきます。								
施策(1)	商工業の振興								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策	担い手確保の推進								
重要業績 評価指標	創業者数 (人)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		4	11	3	6	11	5	36	A
	年度ごとの到達目標値		6	6	6	6	6	30	120.0%
	「数値目標等に対する客観的評価		A	C	A	A	B		
	備 考	R2年度：創業者11件(製造業1件・小売業1件・サービス業9件) R3年度：創業者3件(飲食業1件・サービス業2件) R4年度：創業者6件(飲食業2件・小売業(飲食サービス)2件・美容業2件) R5年度：創業者11件(飲食業3件・小売業(飲食サービス)2件・医療・福祉業3件・生活関連サービス業1件・建設業2件) R6年度：創業者5件(飲食業2件・小売業(飲食サービス)1件・医療業1件・生活関連サービス業1件)							
	5年間の総括	新型コロナウイルス感染症が5類移行となったこと等もあり、特にR5年度中の創業者が多かった。創業相談があった際には、商工会や金融機関等の関係機関とも連携し、新規創業に対する支援策(空き店舗等対策事業費補助金・創業支援利子補給金等)の紹介を適切に行うことで、今後も市内での創業促進に繋げていく。							
	担当部局名	商工観光課				評価・検証 実施時期		令和7年3月末	

基本目標 1	魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する							1- - (2)		
基本的方向	【新たな産業づくりに挑戦する】 観光のまちの育成では、観光地や施設を訪れた人が地域交流を楽しむ機会づくりや受入体制の充実、また、訪れた人に与えるサービスを充実・強化していくこと、安心して楽しむための整備を推進するとともに、地域の情報発信力強化に取り組みます。									
施策(2)	観光のまちの育成									
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)										
具体的な施策	観光・交流の促進									
重要業績評価指標	イベント集客数 (8イベント) (人)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		91,429	33,690	40,644	51,636	98,122	81,442	305,534	C	
		年度ごとの到達目標値		131,000	135,000	139,000	142,000	145,000	692,000	44.2%
	「数値目標等に対する客観的評価		C	C	C	B	C			
	サイクリングイベント開催数 (参加者) (回/人)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		6 181	8 106	7 135	12 204	10 300	10 479	47 1,224	C C	
		年度ごとの到達目標値		19 580	20 780	20 850	20 920	20 450	99 4,170	47.4% 29.3%
	「数値目標等に対する客観的評価		C C	C C	B C	C C	C A			
	備考	【イベント集客数対象イベント】 土佐赤岡どろめ祭り、土佐赤岡絵金祭り、香南市みなこい港まつり、冬の夏祭り、手結盆踊り、西川花まつり、かがみ花フェスタ、のいちdeナイト R2年度：(0)・(0)・(0)・(0)・(0)・(15,826人)・(1,660人 内 9/12：778人、10/3：882人) R3年度：(0)・(0)・(0)・(0)・(14,839人)・(901人ひまわり祭り、16,565人チューリップまつり) (8,339人 内 8/14：597人、9/18：3,324人、10/2：4,418人) R4年度：(0)・(6,500人)・(3,608人)・(3,000人)・(147人)・(13,131人)・ (13,021人 チューリップまつり)・(12,229人) R5年度：(3,000人)・(15,000人)・(35,000人)・(6,000人)・(8,000人)・(8,953人)・ (13,624人チューリップまつり)・(8,545人) ・はR5年3月～4月にまたがる開催であり、前年度の事績として計上。 R6年度：(8,000人)・(12,000人)・(35,000人)・(6,000人)・(1,400人)・(0人)・ (11,224人チューリップまつり)・(7,818人) ・はR5年度にて終了。はR5年3月～4月にまたがる開催であり、前年度の事績として計上。								
		【サイクルイベント開催数】 R2年度： ツール・ド・トレイン(10/31:22人) ボタリング(8/8:5人、10/24:13人、11/14:10人、2/27:8人、3/27:9人) 健康サイクリング(1/31:18人、2/7:21人) R3年度： ツール・ド・トレイン(11/13:25人) 健康サイクリング(10/10:8人、11/7:9人、12/5:5人、1/9:8人、3/13:7人) ヤシシクロクロスカップ(1/30:73人) R4年度： 健康サイクリング(4/17:7人、5/1:5人、6/5:14人、8/7:6人、10/2:12人、11/6:8人、12/11:3人、1/8:8人、 2/5:8人、3/12:8人) タンデム自転車講習会(1/29:6人) ヤシシクロクロスカップ(2/5:119人) R5年度： 健康サイクリング(4/16:10人、6/4:5人、9/3:7人、10/8:2人、12/10:4人、1/14:5人、3/10:5人) キックバイクで遊ぼう(10/21:96人)、 タンデム自転車講習会(11/11:8人) ヤシシクロクロスカップ(2/10:11:158人) R6年度： 健康サイクリング(9/8:4人、12/1:9人) 親子ライド(2/1:10人) キックバイクで遊ぼう(10/19:59人、3/23:82人) シニアサイクル体験会(10/14:8人) ヤシシクロクロスカップ(1/26:125人) 高規格道路開通記念イベント(2/23:ゆっくり79人、タイムトライアル 45人) 今村選手トークショー(2/23:29人) ものべすと周遊ライド(3/23:29人) R6年度は、香南市自転車活用推進計画の目標値変更に合わせて修正、1,040 450								
	5年間の総括	【イベント集客数】 新型コロナウイルス感染症の流行でイベントの中止や縮小があり、目標値を達成することはできなかった。 R5年度以降はほぼ通常開催に戻っているが、西川花まつりが令和5年度で終了となったこともあり、集客数は伸びていない。 今後も関係団体と連携してSNS等によるタイムリーな情報発信でイベントを周知し、誘客に努める。								
		【サイクリングイベント開催数・参加者】 R3年度に香南市自転車活用推進計画が完成し、取組を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止、雨天中止などにより、目標値に届かなかった。 しかし、R6年度は連続テレビ小説「あんぱん」放送決定に伴い、観光博覧会事業のプレイベントとして開催した「ものべすと周遊ライド」や高知龍馬空港IC～香南のいちIC 間 開通記念イベントでサイクルイベントを実施し、市内外からの誘客につながり、「自転車のまち香南市」を印象付ける内容となった。 今後も引き続き、香南市の魅力を感じてもらえるサイクルイベントを実施し、誘客や「自転車のまち香南市」のPRにつなげる。								

基本目標 1		魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する						1- - (3)		
基本的方向		【新たな産業づくりに挑戦する】 観光のまちの育成では、観光地や施設を訪れた人が地域交流を楽しむ機会づくりや受入体制の充実、また、訪れた人に与えるサービスを充実・強化していくこと、安心して楽しむための整備を推進するとともに、地域の情報発信力強化に取り組みます。								
施策 (2)		観光のまちの育成								
具体的な施策		情報発信手段の効果的な活用								
重要業績 評価指標	観光協会HP アクセス数 (人)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		117,497	110,799	128,880	251,856	304,747	383,181	1,179,463	A	
	年度ごとの到達目標値		120,000	123,600	127,308	140,700	350,000	861,608	136.9%	
	「数値目標等に対する客観的評価		A	A	A	A	A			
	備 考	香南市観光協会HPのアクセス数 R5年度より上方修正 131,127人 140,700人 R6年度より再上方修正 135,061人 145,000人 350,000人								
	5年間の総括	R3年度に香南市観光協会のHPの改修によりスマートフォンやタブレット端末による閲覧をやすくし、キャンペーン・KONAN TRAIL等の特設ページの作成、イベント情報の充実により、HPのアクセス数増加に繋がった。 また、SNSでの情報発信からHPへの誘導を行うことでより詳しい情報や関連する内容を提供することに繋がっている。 観光客に需要のあるタイムリーな情報発信を継続し、周遊促進や滞在延長に繋がる取り組みが必要である。								
担当部局名		商工観光課・地域支援課・香我美支所				評価・検証 実施時期		令和7年3月末		

基本目標 1	魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する							1- - (3)	
基本的方向	【新たな産業づくりに挑戦する】 観光拠点形成とネットワーク構築では、地域資源の再発見を進めるとともに、各観光施設・交流拠点のネットワーク化を図り、観光資源を点から面へと一体化した情報提供や、観光協会等の支援を促進します。								
施策 (3)	観光拠点形成とネットワーク構築								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策		資源の再発見 (価値化・付加価値化)							
重要業績 評価指標	新たな観光拠点の 形成 (箇所 / 累計)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		0	0	0	1	1	1	1	A
	年度ごとの到達目標値		0	0	1	1	1	1	100.0%
	「数値目標等に対する 客観的評価		-	-	A	A	A		
	備 考	R元年度：三宝山中腹に井上ワイナリー (株) による開発 (ワイナリー) を開始 (R4年5月オープン予定) R2年度：香南市産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し醸造所建設を行った。 R3年度：6月に法人登記を香南市へ移転し、香南市の企業として事業をスタートさせており、事業開始後、2名の雇用。 8月には、収穫された県内産ブドウを活用し、9月に醸造所を稼働させ、初仕込みを開始。 10月には、自社醸造した初の完全県産ワイン「TOSAワインヌーボー」を発売する等、事業を展開。 11月からは駐車場やワインを貯蔵するセラー等の整備を進めた。(R4.4月完成) R4年度：4/29日にグランドオープンし、年間来客数は5万人を超えた。 県産ワインの増産や、香南市産レーズン入りパンの企画等、他事業者との連携も実施。 観光分野に加え、他産業分野との連携を含めた事業を展開していく。 R5年3月末売上げ実績：71,735千円 R5年度：園場拡大やタンク増設等製造拡大、他事業者と連携し特別ワインの醸造、県内外へのイベントに出店。 ワイナリーアワード3つ星獲得や日本ワインコンクール入賞等ブランドとして確立してきている。 R6.3.6には、土佐のおきやくと絡めて、高木酒造・香美市のTOSACOと連携した 「ものべ川流域醸造酒まつりバスツアー」を開催。(23人参加) R5年度末 売上実績：66,638千円 R6年度：地域計画・県農地耕作条件改善事業により園場が3期に分けて計4ha造成することになった。 香港和酒アワード、日本ワインコンクール、フェミナリーズ等のコンテストでの重賞受賞。四国ワイナリー協会(全9社)、高知県ワイナリー協議会(全3社)を立上げ、県産、四国産ワインの普及する。 その他県内外の企業や団体と共同で各種イベントを実施した。 令和6年度末 売上実績：65,426千円							
	5年間の総括	5年間で酒質・ブランディングは期待値を大きく超える成果が残せているが、供給が追い付かない状態である。 関東、中部、近畿の県人会、他県でのイベントに積極的に参加し香南市や県に所縁のある方々への認知度を伸ばせている。 また、県外企業からの協同開発や研究の依頼もあり暖地産ワインとして確立が進んでいる。 一方、食品関連売上を伸ばせていないため売上計画は未達。酒類製造の役割は計画通りであるが、観光施設として誘客し満足感を与える点が課題である。 ハードとソフト面の施策をショップ5周年目に向けて検討を開始する。							
担当部局名	商工観光課				評価・検証 実施時期		令和7年3月末		

基本目標 1	魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する						1- - (3)		
基本的方向	【新たな産業づくりに挑戦する】 観光拠点形成とネットワーク構築では、地域資源の再発見を進めるとともに、各観光施設・交流拠点のネットワーク化を図り、観光資源を点から面へと一体化した情報提供や、観光協会等の支援を促進します。								
施策 (3)	観光拠点形成とネットワーク構築								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策	観光旅行会社(企画)とのタイアップによる複数観光ルートの構築								
重要業績評価指標	旅行商品造成数 (新規・モニター) (件)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		3	3	6	13	24	78	124	A
	年度ごとの到達目標値		11	11	11	11	12	56	221.4%
	「数値目標等に対する客観的評価		C	C	A	A	A		
	備考	R2年度: 誘客多角化事業(ユニバーサルビーチ)のモニターツアー、誘客多角化事業(OriHime)のモニターツアー、第9回道の道トレイルランニングレース2020の旅行企画商品 R3年度: 6件 支援学校修学旅行者担当者招致モニターツアー(マリンアクティビティを核とした中四国支援学校向けツアー) 教育旅行担当旅行AGT招致モニターツアー 山北ワーキングホリデーツアー(山北みらいよりの受注型ツアー) 修学旅行担当者を誘致した岡山の支援学校へのオンラインツアー(12/13開催) 大型客船(ばいふいっくびいす) 西川花公園へのオブショナルツアー(3/30開催) 第10回道の道トレイルランニングレース2021の旅行企画商品 R4年度: 13件 香南市観光協会 ...1件 第11回道の道トレイルランニングレース2022(10/2) 物部川DMO協議会 ...12件 ものべのおしごと体験博を核とした旅行商品(6/5, 12/26, 3/28) ワークーションプログラム(3/2, 3) ユニバーサルビーチ(7/17, 8/3) 修学旅行 2校(5/20, 9/21-22, 11/8) 障がい者支援NPO旅行商品(9/10, 11) 高知まんなか移住体験ツアー2022(10/21-10/22) 高知新聞観光ツアー(11/8) 台湾観光客向けオブショナルツアー(3/15, 3/23) 岡山県玉島商工会産業観光ツアー(3/28) 一般団体ツアー誘致(9/10-11, 9/12-13, 10/29, 12/4) クルーズ船(日本人のみ)(7/16, 11/20, 11/24) クルーズ船(インバウンド)(3/11, 3/15, 3/18, 3/26, 3/31) R5年度: 24件 物部川DMO協議会...24件 ものべのおしごと体験博を核とした旅行商品7件(6/11, 7/27, 7/30, 8/17, 10/22, 12/16, 3/10) ワークーションプログラム2件(9/29, 30, 10/7~9) ユニバーサルビーチ1件(7/15) 高知まんなか移住体験ツアー1件(12/1, 2) クルーズ船1件3回(日本人のみ)(4/23, 5/15, 9/2) クルーズ船インバウンド1件5回(5/22, 7/7, 8/29, 8/31, 10/5) 修学旅行1件(6/28) インバウンド団体誘致1件4回(6/28, 8/5, 10/11, 11/22) 日本人団体ツアー2件3回(5/12, 11/14, 11/28) スタートラベルオブショナルツアー作成1件(5/31) 中国旅行社オブショナルツアー作成1件(7/2~5) ユニバーサルツーリズム1件(7/14~17) 連合高知ツアー1件(7/22) 旅行会社がツアー化したのが、定員に達せず催行しなかったツアー: 日本人団体ツアー3件4回(7/28, 8/4, 12/22, 11/8) R6年度: 78件 物部川DMO協議会...78件 ものべのおしごと体験博での旅行商品8件(4/3, 7/30, 8/5, 8/21, 10/27, 11/9, 12/26, 3/22) ユニバーサルビーチ1件(11/17) インバウンド団体4件(5/19, 6/24, 11/19, 3/10, 11) 日本人団体ツアー65件							
5年間の総括	新型コロナウイルス感染症の終息より順調に増え始め、R6年度には、R7年前期放送の連続テレビ小説「あんぱん」の先取の旅行プラン造成が功を奏し、大幅に伸びた。 ツアー造成はこれまでの観光地を見て回るだけのものから「体験」や「おもてなし」を重視したものに移行しつつあり、観光施設以外の地域住民やガイド、観光協会等の協力が必要となってきた。 R6年度に増えた多くの商品はR7年の連続テレビ小説を目的としたものなので、R8年度以降に継続して商品造成、送客をしてもらえる取組をR7年度に行う。								
担当部局名	商工観光課				評価・検証 実施時期		令和7年3月末		

基本目標 1		魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する						1- - (3)	
基本的方向		【新たな産業づくりに挑戦する】 観光拠点形成とネットワーク構築では、地域資源の再発見を進めるとともに、各観光施設・交流拠点のネットワーク化を図り、観光資源を点から面へと一体化した情報提供や、観光協会等の支援を促進します。							
施策 (3)		観光拠点形成とネットワーク構築							
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策		物部川流域3市での観光振興							
重要業績 評価指標	主要観光施設 入込客数(人)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		707,185	460,082	578,536	723,699	732,323	679,152	3,173,792	B
	年度ごとの到達目標値		777,000	815,000	855,700	898,600	944,000	4,290,300	74.0%
	「数値目標等に対する 客観的評価		C	B	B	B	B		
	備 考	R2年度：・南国市... 西島園芸団地(70,056人)、歴史民俗資料館(7,296人) ・香南市... のいち動物公園(138,957人)、アクトランド(54,181人)、絵金蔵(3,239人) ・香美市... 香美市立やなせたかし記念館(97,336人)、龍河洞(71,436人)、 べふ峡温泉(14,004人)、 ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート(旧セレネ)(4,792人) R3年度：・南国市... 西島園芸団地(94,611人)、歴史民俗資料館(19,730人) ・香南市... のいち動物公園(190,886人)、アクトランド(51,822人)、絵金蔵(3,423人) ・香美市... 香美市立やなせたかし記念館(116,707人)、龍河洞(82,354人)、 べふ峡温泉(14,770人)、 ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート(旧セレネ)(4,233人) R4年度：・南国市... 西島園芸団地(132,590人)、歴史民俗資料館(27,764人) ・香南市... のいち動物公園(211,998人)、アクトランド(64,927人)、絵金蔵(6,633人) ・香美市... 香美市立やなせたかし記念館(140,969人)、龍河洞(118,367人)、 べふ峡温泉(12,124人)、 ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート(旧セレネ)(8,327人) R5年度：・南国市... 西島園芸団地 (150,302人)、歴史民俗資料館(9,712人 9月19日から休館) ・香南市... のいち動物公園(206,493人)、アクトランド(55,369人)、絵金蔵(8,199人) ・香美市... 香美市立やなせたかし記念館(153,058人)、龍河洞(132,090人)、 べふ峡温泉(9,964人)、 ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート(旧セレネ)(7,136人) R6年度：・南国市... 西島園芸団地 (140,120人)、歴史民俗資料館(19,322人) ・香南市... のいち動物公園(189,701人)、アクトランド(46,422人)、絵金蔵(9,365人) ・香美市... 香美市立やなせたかし記念館(139,176人、11月19日～3月28日まで休館)、 龍河洞(137,598人)、べふ峡温泉(R6年4月から休館)、 ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート(旧セレネ)(5,048) (4,954人、11月19日～3月28日まで休館)							
		5年間の総括	R4年度、R5年度の新型コロナウイルス感染症からの回復は顕著に表れたが、R6年度はべふ峡温泉の無期限休館、やなせたかし記念館、シックスダイアリーの約5か月間の休館の影響もあり減となった。やなせたかし記念館の休館はR7年度の連続テレビ小説「あんぱん」の放送により増えると想定される観光客の受け入れの準備であるため、R7年度には回復すると見込んでいる。 R7年度以降は、年間6万人以上の入館がある、海洋堂スペースファクトリーなんこく(R3年度閉館)の入込数も報告に加わる。 R8年以降は連続テレビ小説の放映後の知名度向上を活かし、R6年度までに行ってきた取り組みを活かし、新しい層の観光客をリピーター化できる取り組みを行う。						
	担当部局名		商工観光課			評価・検証 実施時期		令和7年3月末	

基本目標 1		魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業をめざす						1- -(1)		
基本的方向		【分野を超えた産業間の連携を強化する】 6次産業化による＊地産地商の徹底では、生産物の出荷価格の維持や付加価値化による生産物の出荷価格の安定、食糧の安定供給、地場産品の維持・継続を図ります。 (＊地産地商:いわゆる地産地消だけでなく、地域で生産される生産物や農水産加工品等を、地域が一体となって売り込むという考え方(産業振興計画分野を超えた連携テーマより))								
施策(1)		6次産業化による新産業の創出と地産地商の徹底								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)										
具体的な施策		魅力ある新商品の開発・消費拡大								
重要業績評価指標	ヤ・シィ特産品売上金額(万円)	基準値	実績値					最終目標値	第2期(達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		2,686	1,817	2,237	2,168	2,230	2,686	13,824	C	
	年度ごとの到達目標値		5,461	5,503	5,544	5,586	5,628	27,722	49.9%	
	「数値目標等に対する客観的評価		C	C	C	C	C			
	備考	【フルーツアイスパー＆スイーツカフェ「mana*mana(マナマナ)」の売上金額】 R元年度(売上期間: H31.4.1～R2.3.31)、R2年度(売上期間: R2.4.1～R3.3.31) R3年度(売上期間: R3.4.1～R4.3.31)、R4年度(売上期間: R4.4.1～R5.3.31) R5年度(売上期間: R5.4.1～R6.3.31)、R6年度(売上期間: R6.4.1～R7.3.31)								
	5年間の総括	出店や販路拡大に向けた商談会への参加に取り組み、新たな販路開拓は進められた。 また、SNSを活用した情報発信や新メニュー、週替わりランチ等、誘客に繋がる取り組みを強化した。 しかし、人員体制が整わず、大量注文への対応が難しい等の課題が続いている。 【R7年度より県産業振興計画に合わせて指数を変更。(新:道の駅やすテナントの売上高へ変更)】 今後は、ヤ・シィパークのインクルーシブ化や各種イベントの開催等、集客増に向けて取り組みを実施し、ヤ・シィパーク全体の入込数を増やすことにより、直営店だけではなく、道の駅全テナントの売上増を目指す。								
具体的な施策		地産地商の拠点(直売所)の機能拡充								
重要業績評価指標	やすらぎ市、あぐりのさと、天然色市場の集客数(人)	基準値	実績値					最終目標値	第2期(達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		228,398	225,149	253,224	258,389	251,997	245,262	1,234,021	B	
	年度ごとの到達目標値		270,069	278,169	286,515	295,110	303,963	1,433,826	86.1%	
	「数値目標等に対する客観的評価		B	B	B	B	B			
	備考	【対象施設】やすらぎ市、あぐりのさと、天然色市場 暦年 R元年度: 207,003人、18,255人、H30.4.1から休業中、 R2年度: 206,353人、18,796人、H30.4.1から休業中 R3年度: 202,505人、16,612人、34,107人(R3.8.7より再オープン) R4年度: 203,195人、15,431人、39,763人 R5年度: 204,559人、14,077人、33,361人 R6年度: 199,324人、13,678人、32,260人								
	5年間の総括	R3年8月に天然色市場がリニューアルオープンし、地域の特産品販売やカフェメニュー、テイクアウト商品の販売に取り組んでいる。 あぐりのさととはR5年度より売上が落ちる6～9月を土曜日のみの開店として収益性の改善に取り組んだ。 各施設において、集客のイベントを実施しているが、目標値は達成しておらず、集客に課題がある。								

基本目標 1		魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業をめざす						1- (1)	
基本的方向		【分野を超えた産業間の連携を強化する】 6次産業化による*地産地商の徹底では、生産物の出荷価格の維持や付加価値化による生産物の出荷価格の安定、食糧の安定供給、地場産品の維持・継続を図ります。 (*地産地商:いわゆる地産地消だけでなく、地域で生産される生産物や農水産加工品等を、地域が一体となって売り込むという考え方(産業振興計画分野を超えた連携テーマより))							
施策(1)		6次産業化による新産業の創出と地産地商の徹底							
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策		地域内での創意工夫によるコミュニティビジネスの支援							
重要業績評価指標	集落活動センターでの特産品の開発(累計)(件)	基準値	実績値					最終目標値	第2期(達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		4	0	1	3	3	3	3	B
		年度ごとの到達目標値		1	2	3	3	4	4
	「数値目標等に対する客観的評価		C	C	A	A	B		
	備考	【集落活動センター推進事業】 H30年度:【西川】みかんを使ったオレンジットを開発。 R元年度:【岸本】R2年度開設の岸本地区集落活動センターの特産品を研究。 R2年度:【岸本】特産品の研究を継続。 R3年度:【岸本】農園部が耕作放棄地を借りて栽培した芋を使った特産品の研究に取り組み、「焼き芋ペースト」を開発。 R4年度:【岸本】農園部がサツマイモを生産し、イベント等での直売及び地元企業へ加工用として販売。(芋天) 【西川】みかんジャムを使って地元企業でマフィンを開発。県内大学にみかんジャムの実習を実施。 R5年度:【岸本】農園部がサツマイモを栽培し、地元企業への加工用として販売、チューリップまつり等イベントでの直売。 大学の地域学習「地域学習1」の受け入れ(希望者:1名) 【西川】県内大学(県立大)のみかんジャムの実習、香我美町文化祭、西川花祭り販売。 R6年度:【岸本】焼き芋ペーストや生芋を加工し、スイーツを試作。 【西川】県内大学(県立大)のみかんジャムの実習、香我美町文化祭、アサギダラマーキング大会で販売。							
	5年間の総括	【西川】 毎年10月～12月ごろにジャムの製造を行い、地域内外のイベントに出店したり、地域の店舗で販売している。 R5～R6はジャムの製造に必要な材料や機材を保管する倉庫が同じ敷地内にないため、車で倉庫まで行かなければならない。 メンバーの減少や高齢化により活動に影響がでてきている。 継続のためには、スムーズに作業が行えるよう倉庫の移動などの検討が必要である。 (市の公民館も兼ねているため、倉庫を移動して設置することが難しい) 【岸本】 芋苗を植えるタイミング等が合わなかった場合、栽培に至らないことがあるため、安定した収穫の確保を目指す。 ペースト等を活用して地域での料理教室等で、スイーツづくりや試食会を開催するなど、今後の活動につなげたい。							
具体的な施策		観光活性化に向けたあらゆる産業との連携強化							
重要業績評価指標	「まるごと旨市」参加事業所数(事業所)	基準値	実績値					最終目標値	第2期(達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		46	64	65	52	50	50	50	A
		年度ごとの到達目標値		46	47	47	48	48	48
	「数値目標等に対する客観的評価		A	A	A	A	A		
	備考	R元年10月:「2019-2020香南市ギフトカタログ通年号」10,000部作成(226品目・53事業所) R2年3月 10,000部増刷 R2年9月:「2020-2021香南市ギフトカタログ通年号」10,000部作成(257品目・64事業所) R3年1月 10,000部増刷 R3年9月:「2021-2022香南市ギフトカタログ通年号」15,000部作成(259品目・65事業所) R4年9月:「2022-2023香南市ギフトカタログ通年号」15,000部作成(229品目・52事業所) R5年9月:「2023-2024香南市ギフトカタログ通年号」15,000部作成(239品目・50事業所) R6年 :「2024-2025香南市ギフトカタログ通年号」10,000部作成(239品目・50事業所) R5年度中に印刷したものを配布							
	5年間の総括	新規事業者の参画呼びかけ、新商品、季節商品の充実を図り、リピーターの確保及び新規顧客の獲得を目指すことで、地元事業者の売上増に繋がるよう取組を進めてきた。 また、県内外のイベント等に参加することで積極的なPRを行い、香南市のファン獲得に努めた。 現在配布中である「2024-2025香南市ギフトカタログ通年号」以降は、紙媒体でのカタログ配布は実施しない予定							
担当部局名		商工観光課・香我美支所			評価・検証実施時期		令和7年3月末		

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標 2		香南市とのつながりを強化し、新しい人の流れをつくる						2- - (1)		
基本的方向	【移住・定住促進のための体制を強化する】									
	移住フェア等も活用しながら、移住相談対応を行うとともに、さまざまな媒体を通じた情報発信を推進します。 安心して住み続けることができる環境づくりに努めるとともに、移住希望者の受け皿となる空き家バンクの活用や市街地との人口格差解消のための新築住宅の取得支援等に取り組み、移住定住の促進を図ります。 県や近隣市町村と連携した取組を推進します。 特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」を増やし、地域課題の解決や将来的な地方移住に向けた裾野の拡大を図ります。									
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)										
具体的な施策		「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信								
重要業績評価指標	移住促進ホームページのアクセス回数(回)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		67,226	82,096	91,303	102,487	106,070	73,419	455,375	A	
	年度ごとの到達目標値		68,000	70,000	72,000	95,000	97,000	402,000	113.3%	
	「数値目標等に対する客観的評価		A	A	A	A	B			
	備 考	【移住促進ホームページのアクセス回数】 R5年度より目標値を上方修正 R2年度： 82,096回 ・ R3年度： 91,303回 ・ R4年度： 102,487回 R5年度： 106,070回 ・ R6年度： 73,419回								
5年間の総括		香南市移住定住ポータルサイト「香南住むーず」は移住情報を掲載している。 イベントや補助金情報など掲載しているが、空き家バンクに魅力的な物件が掲載された時等に特にアクセス数が増える傾向にある。 今後も魅力的な情報を発信できるようにしていく。								
具体的な施策		居住環境の整備								
重要業績評価指標	新築住宅取得支援事業活用件数(件)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		-	-	-	-	9	17	26	C	
	年度ごとの到達目標値		-	-	-	25	25	50	52.0%	
	「数値目標等に対する客観的評価		-	-	-	C	B			
備 考		R5年度より新築住宅取得支援事業を実施。 R5年度： 9件(内訳:夜須町2件、香我美町6件、赤岡町1件、吉川町0件) R6年度： 17件(内訳:夜須町5件、香我美町10件、赤岡町0件、吉川町2件)								
重要業績評価指標	住宅リフォーム助成額(万円)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		1,456	1,459	1,500	1,500	1,460.5	1,380	7,300	B	
	年度ごとの到達目標値		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500	97.3%	
	「数値目標等に対する客観的評価		B	A	A	B	B			
	備 考	R2年度:補助金申請 113件 総事業費 11,263万円であり、市内経済の発展に寄与した。 R3年度:補助金申請 99件 総事業費 11,446万円であり、市内経済の発展に寄与した。 R4年度:補助金申請 93件 総事業費 11,363万円であり、市内経済の発展に寄与した。 R5年度:補助金申請 92件 総事業費 9,863万円であり、市内経済の発展に寄与した。 R6年度:補助金申請 92件 総事業費 13,439万円であり、市内経済の発展に寄与した。								
5年間の総括		新築住宅取得支援事業(2カ年)を活用し、人口減少地域に一定数の新築住宅は建築されている。 しかし、補助金創設の前と比較しても件数は伸びている状況ではないことから検討見直しが必要。 住宅リフォーム助成事業は、H27年度より導入し、10年余を経過した。 当初より毎年一定数の需要はあり地域への経済波及効果はある。 当事業は2年ごとに事業継続を見直すこととなっており、R7年度からは補助金額を上限15万円に見直しているが市単独補助金事業として長期継続してきているので、全体的な行財政改革のなかで一定の検討・見直しが必要。								

基本目標 2		香南市とのつながりを強化し、新しい人の流れをつくる						2- - (1)		
基本的方向		【移住・定住促進のための体制を強化する】								
		移住フェア等も活用しながら、移住相談対応を行うとともに、さまざまな媒体を通じた情報発信を推進します。 安心して住み続けることができる環境づくりに努めるとともに、移住希望者の受け皿となる空き家バンクの活用や市街地との人口格差解消のための新築住宅の取得支援等に取り組み、移住定住の促進を図ります。 県や近隣市町村と連携した取組を推進します。 特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」を増やし、地域課題の解決や将来的な地方移住に向けた裾野の拡大を図ります。								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)										
具体的な施策		移住促進の取組強化								
重要業績評価指標	空き家バンク新規登録数（棟）	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		8	12	11	7	16	7	53	B	
		年度ごとの到達目標値		12	12	12	12	12	60	88.3%
		「数値目標等に対する客観的評価		A	B	C	A	C		
		備考	R元年度：8棟登録（売買登録 5・賃貸登録 3） R2年度：12棟登録（売買登録 5・賃貸登録 6・どちらでも登録1） R3年度：11棟登録（売買登録 8・賃貸登録 2・どちらでも登録1） R4年度：7棟登録（売買登録 5・賃貸登録 2） R5年度：16棟登録（売買登録13・賃貸登録 3） R6年度：7棟登録（売買登録 6・賃貸登録 1） 延40棟 成約 売1・貸2 延52棟 成約 売4・貸7 延63棟 成約 売5・貸6 延70棟 成約 売4・貸1 延86棟 成約 売6・貸2 延93棟 成約 売0・貸0							
	5年間の総括	空き家活用事業として、移住・定住促進のための「空き家バンク」事業 H29年より を実施している。 県外からの多くの移住者希望者は、いきなり「新築」を持つより、まずは「借家」や「中古住宅」で生活をしてみてからであり、空き家活用のニーズは高いと考える。 「空き家バンク」事業では、「相続ができていない」「不動産登記がされていない」「知らない人に家を貸したくない」という理由から、登録件数が伸び悩んでいる。 R6年度は、民間と連携した物件の掘り起こし活動も実施したが、成果までにはつながっていない状況。 年間登録目標12件に対して5カ年平均で10.6件の登録数であった。								
具体的な施策		関係人口の創出								
重要業績評価指標	ワーキングホリデー参加者数(人)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		2	4	4	2	3	3	16	B	
		年度ごとの到達目標値		3	3	4	4	5	19	84.2%
		「数値目標等に対する客観的評価		A	A	C	B	B		
		備考	R2年度：4人参加（みかん農家） R3年度：4人参加（みかん農家） R4年度：2人参加（井上ワイナリー） R5年度：1人参加（井上ワイナリー）・2人参加（みかん農家） R6年度：2人参加（井上ワイナリー）・1人参加（みかん農家）							
	5年間の総括	受入事業所として同期間に受入可能な人数以上の応募がある等、参加希望のニーズに対応できないことがあった。 今後は、既存の受入事業所の継続と、新規の受入事業所を増やし、同期間に複数の応募があった場合も、別の受入事業所の案内ができるよう取り組む。								
担当部局名		地域支援課・住宅政策課				評価・検証実施時期		令和7年3月末		

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標 3		若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる						3- - (1)			
基本的方向		【人生をトータルでサポートする体制づくり】									
		香南市では、「人生をトータルでサポートできる行政へ」という目標を掲げ、人生のライフステージに合わせて、トータルでサポートできる体制づくりと支援できる施策の提供を行っています。 若者の出会いの場づくりや子どもを安心して生み育てられる環境づくり等、市民の人生をトータルでサポートする行政の体制づくりを目指します。									
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)											
具体的な施策		ライフステージに応じた切れ目ない支援									
重要業績評価指標		人生支援に関する新提案(見直し)事業数(件)	基準値	実績値					最終目標値	第2期(達成度合)	
			30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
			6	9	8	8	4	5	34	A	
		年度ごとの到達目標値		6	6	6	6	6	30	113.3%	
		「数値目標等に対する客観的評価		A	A	A	B	B			
		備考	R2年度	「香南キッズ」サイト及び「子育てガイドブック」の改定 県立のいち動物公園入園バスポートプレゼント事業(新) 学校教育環境の整備(拡) 地域おこし協力隊起業等支援事業(新) 結婚新生活支援事業(拡) 道の駅やすサイクリング事業(新) 高齢者可燃ごみ個別回収事業(新) 医療送迎サービス事業(拡) 地域おこし協力隊(高齢者の移動支援コーディネーター)の雇用(新)							
			R3年度	ICT機器を活用した学習の推進(拡) LINEを活用した子育て情報の発信強化(新) ちょこっとぶらり散歩道(新) 自転車用ヘルメット着用促進事業費補助金(新) 多様な性を尊重しあうまちづくり事業(新) 移住応援ガイドブックの全面改訂(拡) 医療機関送迎サービス事業(拡) 高齢者可燃ごみ戸別収集事業(拡)							
			R4年度	認知症カフェ出張サービス(拡) 冒険の森遊具整備事業(新) 4か月児個別健康診査事業(新) 2歳児個別歯科健康診査事業(新) 病後児保育事業(拡) 紙おむつ回収事業(新) 医療機関送迎サービス事業(拡) 新築住宅取得支援事業(新)							
			R5年度	医療機関送迎サービス事業(拡) 新築住宅取得支援事業(新)、結婚新生活支援事業補助金(拡)、 予約式乗合タクシー							
		R6年度	乳幼児等医療費助成事業 拡 産後ケア事業 拡 不妊治療費助成事業 拡 アピランスケア支援事業 新 香南市営バスの高校生までの無料化拡								
5年間の総括	「人生をトータルでサポートできる行政へ」という目標を掲げ、人生を5期(幼年期・就学期・成年期・熟年期・高齢期)に分け、ライフステージに合わせて、市民が必要を感じる時に支援できる施策を「みえやすく」提供することを目的とした「人生支援計画」をH27年度に策定し、各課で取り組んでいる事業の内容についてPDCAサイクルを用いて評価・改善をしていくことで、「香南市に住みたい」「住んでよかった」と思ってもらえるまちづくりを目指してきた。 R5年度からは、人生支援に関する各課個別計画を軸として同内容の取り組みを進めてきたが、目標値は達成できていない。 香南市産業振興計画と香南市人生支援計画は香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略と密に連携をしていたが、R5年度以降は、人生支援に関する各個別計画の連携に陰りが生じていることから、市として目指すべき方向性を各課に再度認識したうえで、各個別計画が目指すべき方向性との調整が図れるよう取り組みを強化していく。										
具体的な施策		若者の出会いの場づくり									
重要業績評価指標		出会いの場の開催回数(回)	基準値	実績値					最終目標値	第2期(達成度合)	
			30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
			2	1	2	3	2	0	8	C	
		年度ごとの到達目標値		3	3	4	4	4	18	44.4%	
		「数値目標等に対する客観的評価		C	B	B	C	C			
		備考	R元年度:よりあいにご家(61人) 成婚者3組 / 婚活セミナー(16人)(10/27) R2年度:よりあいにご家による補助制度1回 / R3年度:よりあいにご家による補助制度1回(よりあいにご家(73人)、市主催婚活セミナー(13人)) R4年度:よりあいにご家による補助制度1回・岸本集落活動センターによる婚活イベントの実施 ○よりあいにご家(相談件数42件、引合せ件数35件、成婚件数1件) ○岸本集落活動センター(9人参加)、○市主催婚活セミナー(12人) R5年度:○よりあいにご家(40件)、○市主催婚活セミナー(10人) R6年度:0件								
			5年間の総括	R5年度でよりあいにご家の活動が終了したことや、市主催の婚活セミナーは、マッチングに繋がりがりづらく単に男女参加型のイベントで終わる等、事業効果が見えづらいこと、参加者集めに苦慮するといった課題がありR6年度は出会いの場の開催が0回となった。 今後は県の運営するマッチングシステムへの誘導や、地域住民が行う出会いイベントへの補助金等、連携して進めていくことが必要。							
担当部局名		地域支援課・企画財政課				評価・検証実施時期		令和7年3月末			

基本目標 3		若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる						3- - (1)			
基本的方向		【子ども、子育て支援・環境の充実支援】									
		家庭・地域・学校の連携・協働を進めることで子どもから高齢者まで様々な人が交流し、地域を活性化させ、子育てを中心とした地域社会のつながりの再生を促進します。あわせて、安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備します。									
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)											
具体的な施策		子育てを支える地域の育成									
重要業績評価指標	三世代交流事業参加者(人)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)		
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期			
		1,300	44	328	- (2,008)	1,036	1,023	2,431 (2,008)	C		
		年度ごとの到達目標値		1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	6,500	(46.7%) R4年度を除く	
	「数値目標等に対する客観的評価		C	C	-	B	B		R4を除く 2,431/5,200		
	備考	【三世代交流事業】青少年育成事業として風揚げ大会と独自事業を年2回実施。 R2年度：サイクリング 11/29開催 44人参加・風揚げ大会 1/17開催中止、 R3年度：親子パークゴルフ大会 11/13開催 28人参加 風揚げ大会 1/9開催 300人参加 R4年度：親子座禅教室 12月上旬開催中止、親子風作り教室 12/17開催 8人参加、 風揚げ大会 2/11開催 2,000人参加 (三世代交流風揚げ大会は1/15に実施予定であったが天候不良のため2/11に順延し、旧正風揚げ大会と合同開催となった。 そのため、三世代風揚げ大会単独の参加者は把握できない) R5年度：親子風作り教室 11/4開催 4組7人参加、11/19開催 7組14人参加、12/2開催 9組15人参加 三世代交流新正風あげ大会 1/14開催 1,000人参加 R6年度：三世代交流サイクリング 10/6開催 10組12人参加 親子風作り教室 11/30開催 6組8人参加、12/8開催 2組3人参加 三世代交流新正風あげ大会 1/12開催 1,000人参加									
		青少年育成事業の中で、子どもや高齢者などの交流促進などにより多世代が参加・交流できる事業の実施や、地域ごとに開催している運動会や駅伝大会の開催への支援や公民館事業を行い、地域を活性化させ、地域で子育てができるつながりをもてよう事業を実施してきた。 地域ぐるみで子育てを支援し、子どもの育ちを見守るといった連帯意識も重要な子育て力となっている。 しかし、新型コロナウイルス感染症の影響や核家族化、少子高齢化により、近所の付き合いなどの交流等が、時代の経過とともに希薄化しており、地域の子育て力についても低下しているのではないかと考えている。 引き続き、地域における子育ての支援を推進し、行政や関係する団体が連携し、地域を活性化、家庭教育への支援等、子育てを中心とした地域社会のつながりの再生を図っていく。									
		5年間の総括									
	具体的な施策		子育て施策の充実								
	重要業績評価指標	総合子育て支援センター利用者数(人)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
30年度			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期			
8,436			10,197	10,573	10,770	11,437	13,511	56,488	A		
年度ごとの到達目標値				9,000	10,800	10,800	10,800	10,800	52,200	108.2%	
「数値目標等に対する客観的評価			A	B	B	A	A				
子育て情報サイト(市HP)へのアクセス回数(回)		基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)		
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期			
		6,031	8,789	10,390	13,151	11,546	12,053	55,929	A		
		年度ごとの到達目標値		9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	45,000	124.3%	
「数値目標等に対する客観的評価			B	A	A	A	A				
備考		【総合子育て支援センター利用者数】 R元年度に野市町で総合子育て支援センターを開設し、その他の支援センターは出張ひろばとして開設している。 出張ひろばの利用者数は各町で開きがあるため、R3年度から開催曜日を変更。 R6年度には午後の出張ひろばを廃止し午前中のみ開設した。 R4年度：10,770人 (児童数 5,746人/同伴者5,021人/大人単独利用者数 3人) コロナの影響により利用組数の制限を行っていた時期もある。 R5年度：11,437人 (児童数 5,923人/同伴者5,505人/大人単独利用者数9人) R5年度より平日開設時間「9時～15時」を「9時～16時」に1時間延長。 また、第2・第4土曜日の午前中開設し、開設日を拡充。 R6年度：13,511人 (児童数 6,933人/同伴者6,554人/大人単独利用者数24人) 【子育て情報サイト「香南キッズ」アクセス回数】 R2年度：アクセス数は順調に増加しているが、引き続きメルマガ配信内容の工夫を図るとともに、スマートフォンアプリ等の情報発信ツールの検討を図り、ユーザーにマッチした情報発信に取り組む。 R3年度：スマートフォンアプリ等の情報発信ツール「LINE」への対応、写真や動画による情報を増やす等「香南キッズ」サイトの改修。 R4年度：13,151回 / R5年度：11,546回 / R6年度：12,053回									
		【総合子育て支援センター利用者数】 総合子育て支援センター「にこなん」及び出張ひろば4カ所の利用者増加を目指し継続的に事業に取り組んだ結果、目標値に対して順調に推移。 特にR5年度より「親子のひろば」の開設時間を午後4時まで拡大し、また、第2土曜日に加えて第4土曜日の午前中を開設するといった利用者ニーズに沿ったサービスを拡充したことにより利用者が増加。 地域における子育ての拠点として、子育て中の親子が集い交流する「親子のひろば」をはじめ、育児のために役立つ講座や親子で楽しく学べて体験できる「育児学級」、母乳相談や栄養相談といった子育てに関する各種相談など、子育て支援の場所と機会を提供することができた。 【子育て情報サイト「香南キッズ」アクセス回数】 アクセス回数は、スマートフォン用サイトへつなぐQRコードの設定や「LINE」を活用し市のホームページと連動した情報発信ツールの普及を行ったことにより目標値に対して順調に推移した。 子育て情報サイト「香南キッズ」を通じて「にこなんだより」などのおたよりのメルマガ配信のほか、健診や予防接種、育児学級などの子育て情報をタイムリーに発信した。 また、R4年度には子育て情報サイト「香南キッズ」の改修を行い、子育て世帯にとって必要な情報発信を行うとともに、同年度末にリニューアルした広告入り子育てガイドブックの配布を通じて子育て施策の周知を行った。									
		5年間の総括									

基本目標 3		若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる						3- (1)		
基本的方向		【子ども、子育て支援・環境の充実支援】								
		家庭・地域・学校の連携・協働を進めることで子どもから高齢者まで様々な人が交流し、地域を活性化させ、子育てを中心とした地域社会のつながりの再生を促進します。あわせて、安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備します。								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)										
具体的な施策		多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充								
重要業績 評価指標		保育所の預かり数 (子ども一時預かり数) (延人数)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
			30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
			1,229	1,347	1,087	968	618	644	4,664	
		年度ごとの到達目標値		838	1,300	1,300	1,300	1,300	6,038	77.2%
		「数値目標等に対する客観的評価」		A	B	B	C	C		
		児童クラブの利用者数 (人)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
			30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
			370	397	428	436	433	438	1,694	
		年度ごとの到達目標値		385	450	450	450	450	1,735	97.6%
		「数値目標等に対する客観的評価」		A	B	B	B	B		
	備考	【保育所の預かり数】...赤岡保育所、香我美おれんじ保育所、夜須こども園の3園で実施。 R4年度、延968人(赤岡305人、香我美おれんじ536人、夜須127人) R4年度は保育士不足により年度途中から一時預かり保育を縮小して実施。 R5年度、延618人(赤岡163人、香我美おれんじ455人、夜須0人) R5年度は夜須保育所において保育士の配置が困難であったため未実施。 R6年度、延644人(赤岡103人、香我美おれんじ423人、夜須118人) 【児童クラブの利用者数＝年間の平均月利用者数】 H28年度に佐古小学校・野市東小学校での増設工事を行い、H29年度からは定員増となる。 H29年5月からは若杉児童クラブが再開となり、開設箇所は9カ所となる。 R元年度からは野市東第一児童クラブが再開となり、開設箇所は10カ所となる。 R2年度に野市小・香我美小での増設工事、若杉児童クラブの移転工事を行った。 R4年度に待機児童が発生している佐古小第2児童クラブの増築工事を行った。 R5年度は施設の増築等は行っていないが、支援員確保が課題となっていたため、地域情報誌や地元新聞の有料広告を活用し支援員確保に努めた。 R6年度は公営児童クラブにおいて、学校のある日の延長保育時間を18時から18時30分に拡充するよう市内全クラブでのサービスの統一に向けて検討を行った。								
		5年間の総括	【保育所の預かり】 1歳以上の未就園児を対象に、保育所等で預かり保育を行っているが、保育士不足によりR4年の年度途中から、事業を縮小して実施をしてきた。 そのため、預かりの人数が減少し、目標人数には達していないが、保護者からのニーズもあるため、可能な範囲で保育士を配置して引き続き実施をしていく。 保育士の配置基準の見直しやR8年度からの「誰でも通園」の開始に伴い、今後さらに保育士不足が懸念されるため、保育士確保と事業の整理が課題である。 【児童クラブ】 利用ニーズの高い野市小学校区、佐古小学校区、香我美小学校区において施設整備を行い待機児童の解消に努めたが、入会基準を満たさない児童を除く希望者全員の受け入れには至っていない。 待機児童の解消に向けて、施設環境の整備と併せて支援員確保を含めた受入体制を整えていく。							
	担当部局名		生涯学習課・こども課				評価・検証 実施時期		令和7年3月末	

第2期(令和2年度～令和6年度) 総合戦略数値目標及び重要業績評価指標(KPI) 評価書

基本目標 4		地域コミュニティの維持や活性化を図り、安心・安全な地域をつくる						4- (1)	
基本的方向		【協働のまちづくり推進】 地域コミュニティの維持や活性化を促進する、地域の仕組みづくりを支援していきます。							
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策		住民との情報交換							
重要業績評価指標	懇談会、出前講座参加人数(人)	基準値	実績値					最終目標値	第2期(達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		485	285	224	554	385	497	1,945	C
		年度ごとの到達目標値	725	820	880	975	1,060	4,460	43.6%
	「数値目標等に対する客観的評価	C	C	B	C	C			
	備考	R2年度：市主催地区懇談会 5町5カ所で開催（市民111人参加） 地域主催ふらっと座談会 1カ所（夜須町）で開催（市民15人参加）、 出前講座 159人（8ヶ所） R3年度：市主催地区懇談会 5町5カ所で開催（市民89人参加） 地域主催ふらっと座談会 2カ所（夜須町、つきみ野・宮ノ瀬）で開催（市民30人参加） 出前講座 105人（5団体） R4年度：市主催地区懇談会 5町5カ所で開催（市民189人参加） 地域主催ふらっと座談会 6カ所（上夜須・十ノ木、吉川、つきみ野・宮ノ瀬、手結山、夜須町、山北）で開催（市民101人参加） 出前講座 264人（15団体） R5年度：市主催市民懇談会 5町5カ所で開催（市民96人参加） 地域主催ふらっと座談会5カ所（深淵、西佐古、つきみ野・宮の瀬、吉川町、夜須町）で開催（市民69人参加） 出前講座 220人（15団体） R6年度：市主催市民懇談会 5町5カ所で開催（市民108人参加） 地域主催ふらっと座談会4カ所（深淵、つきみ野・宮の瀬、赤岡町、夜須町）で開催（市民52人参加） 出前講座 337人（25団体）							
	5年間の総括	自治組織等の地域単位でのコミュニティー意識の醸成を図りながら、地区活動への参加を促進し、自治機能の強化を図るまちづくりを進めるため、市の重点施策等の説明を行う市民懇談会や地域の要望や意見交換を行う座談会に加え、自治会等が市の取り組みを学ぶ出前講座に取り組んできた。新型コロナウイルス感染症の影響により人数制限を要する期間もあったが、地域の声を当市の施策に活かすため、継続して事業を行ってきた。 しかし、コロナ禍以降参加者数は減少傾向にあり目標値を大きく下回る結果となった。 これまで地域を支えてきた役員等の高齢化や次代への引継ぎが進んでいないことに加え、新たに香南市で暮らす世帯も増えていることから、当市が目指す方向性について若い世代に再周知を行うことや協力いただける体制の構築が求められている。							
	具体的な施策		地域活動の支援体制強化						
重要業績評価指標	自治会結成率(%)	基準値	実績値					最終目標値	第2期(達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		89.5%	91.6%	91.6%	91.6%	92.6%	92.6%	92.6%	B
		年度ごとの到達目標値	94.7%	97.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	92.6%
	「数値目標等に対する客観的評価	B	B	B	B	B			
	備考	自治会...全95組織 / 協議会...全19組織 R元年度：1組織（横井・八丁地区自治会）が結成のため、86 87組織となる 87組織/95組織=91.6% R2年度：87組織 / 95組織 = 91.6%、 R3年度：87組織 / 95組織 = 91.6% R4年度：87組織 / 95組織 = 91.6%、 R5年度：88組織 / 95組織 = 92.6% R6年度：88組織 / 95組織 = 92.6%							
5年間の総括	野市町以外の自治会は出来ている。 野市町は、新興住宅の建設が各地で進んでおり、自治会を組織する町内会づくりに時間を要している。 R6年度は、新規自治会は設立できなかったが、R7年度に3地区の設立が予定されている。 引き続き、地域が求めるあり方を研究し、町内会、自治会、協議会の設立に向けて取り組んでいく。								
担当部局名		地域支援課・各支所			評価・検証実施時期		令和7年3月末		

基本目標 4	時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる							4- - (1)		
基本的方向	【災害に強いまちづくり】 診断士を派遣し診断、耐震化のための工事費に対する補助金等、個人住宅の耐震化を促進するとともに、地域の自主防災組織づくりへの支援や各地域の防災体制づくりのリーダー育成の研修等、災害時の地域の支え合い体制の強化を図ります。									
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)										
具体的な施策	耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実									
重要業績評価指標	耐震診断件数(件)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		83	55	48	40	26	134	303		
	年度ごとの到達目標値		60	60	60	60	60	300	101.0%	
	「数値目標等に対する客観的評価		B	B	B	C	A			
	備蓄率(%) (食料、水、毛布)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		86.0	93.0	93.4	82.7	85.0	87.4	87.4		
	年度ごとの到達目標値		87.8	91.2	93.9	96.6	96.6	96.6	90.5%	
	「数値目標等に対する客観的評価		A	A	B	B	B			
	備 考	【耐震診断件数】 市広報、HPへの掲載やチラシの配布を実施し耐震化の重要性を周知している。 【備蓄率】 想定最大避難者数の12,000人1日分を計画的に備蓄。 R4年度:水の備蓄目標数を変更。								
	5年間の総括	【住宅耐震診断事業】... S56年以前に建築された木造住宅の耐震診断を行うもの。 近年件数が減少傾向だったため、R6年度より診断料個人負担分(3千円)を無料化した。 また、次のステップである耐震化促進事業の設計・改修へと繋げるため改修費の補助上限額も100万円から165万円に増額した。 R6年度は、能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報など度重なる地震等の影響から件数増加。 引き続き周知を図り、継続して事業を実施する。 【備蓄率】 R4年度に飲料水の備蓄目標数を増やしたため、備蓄品のうち飲料水のみが目標に到達していないが、毎年の購入数も増やして着実に備蓄率を上げている。 食料品については、廃棄することのないように賞味期限内に自主防災組織やイベント等で地域の方へ配布し防災の啓発に取り組んでいる。 備蓄以外にも指定避難所に耐震性貯水槽を整備しており、災害時における飲料水や食料の確保、毛布等の資材の確保についても十分に備蓄できている。 今後も有事の際に滞りなく対応できるよう事業を進めていく。								
具体的な施策	自主防災組織の設立・活性化									
重要業績評価指標	自主防災組織結成率(%)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)	
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期		
		89.7	91.9	91.9	90	90.2	90.3	90.3		
	年度ごとの到達目標値		92	94	96	98	100	100	90.3%	
	「数値目標等に対する客観的評価		B	B	B	B	B			
	備 考	R元年度: 13,445世帯(自主防加入世帯数) / 15,022世帯(全世帯数) = 89.5% R2年度: 13,929世帯(自主防加入世帯数) / 15,155世帯(全世帯数) = 91.9% R3年度: 14,016世帯(自主防加入世帯数) / 15,255世帯(全世帯数) = 91.9% R4年度: 13,909世帯(自主防加入世帯数) / 15,459世帯(全世帯数) = 90.0% R5年度: 13,993世帯(自主防加入世帯数) / 15,519世帯(全世帯数) = 90.2% R6年度: 14,013世帯(自主防加入世帯数) / 15,522世帯(全世帯数) = 90.3%								
	5年間の総括	自主防災組織の結成率は100%の目標に対して90.3%で未達成である。 新たな自主防災組織の設立に至っていない理由として、リーダー不足、地域住民の高齢化、防災に対する認識不足等がある。 今後も広く市民の方が参加できる「防災・減災に関する講演会」や「補助事業の案内」等を実施していくとともに、県主催のリーダー育成研修・防災士研修・シンポジウム等への参加案内を通知し、市民の防災意識向上と地域の防災活動の活性化を図る。								

基本目標 4		地域コミュニティの維持や活性化を図り、安心・安全な地域をつくる						4- - (1)	
基本的方向		【協働のまちづくり推進】 地域コミュニティの維持や活性化を促進する、地域の仕組みづくりを支援していきます。							
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策		災害時における地域の支え合いづくり							
重要業績評価指標	避難所運営マニュアルの作成(件)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		17	25	25	25	25	27	27	A
		年度ごとの到達目標値		25	25	25	25	25	25
	「数値目標等に対する客観的評価		A	A	A	A	A		
	備考	R元年度：富家防災コミュニティセンターをはじめ、5避難所(延22避難所)を作成。 R2年度：佐古小学校をはじめ、3避難所(延25避難所)を作成し、全25箇所(浸水区域外指定避難所)が完成。 R3年度：全25箇所(浸水区域外指定避難所)が完成済。 R4年度：避難所運営訓練をR5年1月～2月にかけて3箇所(香我美小・香我美中・山南防災コミュニティセンター)で実施。 R5年度：避難所運営訓練をR5年10月～3月にかけて4箇所(富家防災コミュニティセンター・吉川防災コミュニティセンター・山南防災コミュニティセンター・佐古防災コミュニティセンター)で実施。 R6年度：夜須こども園・野市東防災コミュニティセンターの2箇所作成。既存25箇所改訂。							
	5年間の総括	R2年度に全25箇所の指定避難所運営マニュアルが策定され、避難所運営訓練を実施して地域に普及するよう努めてきたが、コロナによる停滞もありR6年度までに延べ20箇所程度に留まっている。また、策定年度により中身にバラツキがあったため、R6年度に新規含む27箇所の指定避難所において、マニュアルを統一して概要版を作成し、香南市として一元化を図った。 これにより、避難所運営訓練の実施は地域住民のみならず、地域を超えて普及啓発できる環境が整い、災害に強い香南市を更に進めるため、訓練を継続していきたい。 指定避難所における避難所運営マニュアルの作成を進めており、R2年度には目標値である25件を達成した。 以降は、全ての指定避難所においてマニュアルを基にした運営訓練を計画していたが20箇所程度に留まっているため継続的な実施を進めたい。 R6年度には新たに夜須こども園・野市東防災コミュニティセンターの避難所運営マニュアルを作成。また、既存運営マニュアルは内容に差異があったため新たなマニュアルを基に統一化を図った。今後も運営訓練を実施して災害に備えていく。							
	具体的な施策		消防・防災対策の強化						
重要業績評価指標	香南市総合防災訓練参加者数(人)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		4394	3,847	4,132	3,549	4,267	3,837	19,632	B
		年度ごとの到達目標値		4,400	4,600	4,800	5,000	5,200	24,000
	「数値目標等に対する客観的評価		B	B	B	B	B		
	備考	R2年度：新型コロナウイルス感染症対策により、メイン会場での訓練を中止。避難訓練のみを実施。 R3年度：香我美小学校グラウンドをメイン会場に避難訓練を実施。 R4年度：吉川小学校グラウンドをメイン会場に避難訓練を実施。 R5年度：野市東小学校グラウンドをメイン会場に避難訓練を実施。 R6年度：夜須中学校グラウンドをメイン会場に避難訓練を実施。							
5年間の総括	目標値に対する客観的評価は[B]が続いている。 新型コロナウイルス感染拡大による活動自粛、市民の防災意識低下、地域の高齢化等が理由にある。また、総合防災訓練の開催場所(メイン会場を5町で回している)によって参加者数に大きな偏りがある。 メイン会場以外の参加者を増やせるよう今まで以上に地域に入り込み、市民全体の防災減災の意識を高め災害に強い香南市を構築する必要があることから、広報活動のあり方の見直しに取り組み、防災訓練の重要性を発信することで市民の防災意識向上を図る。								
担当部局名		防災対策課・住宅政策課				評価・検証実施時期		令和7年3月末	

基本目標 4	時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる	4- (1)							
基本的方向	【交流人口拡大】 地域と協働し、活動拠点としての集落活動センターの運営体制や組織の強化を図ります。また、歴史・食・体験等の地域資源活用等、交流人口の拡大のための拠点づくりや強化を進めます。 香南市の中山間地域の再生と持続可能な地域の構築に向けて、地域の活性化と振興に寄与する事業推進のため高等学校や大学と連携し、多様な分野で事業に取り組みます。								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策	集落活動センター(小さな拠点整備)								
重要業績評価指標	集落活動センター 設立数(累計) (箇所)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		1	2	2	2	2	2	2	B
	年度ごとの到達目標値		2	2	2	3	3	3	66.7%
	「数値目標等に対する客観的評価		A	A	A	B	B		
	備 考	R元年度：岸本地区で準備会を立ち上げ。 R2年度：岸本地区集落活動センター推進協議会総会開催 (R2.6.17) R3年度、R4年度：西川地区集落活動センター・岸本地区集落活動センターがそれぞれ地域の特性を活かし活動中。 R5年度：【岸本】古民家カフェ「かっぱや」のリニューアルオープン、県立大学生1名を受け入れ、「地域学習1」のカリキュラムとして全2回岸本地区への訪問を実施。 【西川】県立大学生10名を受け入れ「みかんジャムづくり」の実習を実施。 R6年度：【岸本】県立大学生16名、先生1名を受け入れ大学のカリキュラムとして「集落活動センターの事業を通じて、まちづくりの意義について考える」の内容でフィールドワークや、ふれあいカフェの体験実習、同日開催の健康まつりへの参加、意見交換会を実施。 【西川】県立大学生7名、先生2名を受け入れ「みかんジャムづくり」の実習を実施。							
	5年間の総括	香我美町では、合併前より公民館単位でまちづくり協議会(町内会、自治会やPTA、自主防災組織等で構成)が組織化され地域活動を続けており、既存の活動等を拡充する形で、香我美町西川地区と岸本地区で集落活動センターが設立されている。 高齢化や人口減少の中でも地域に愛着を持って住み続けることができるよう、つながりの維持に取り組む必要があることから、今後も中山間地域の暮らしの見守り等を通して、地域内での事業を模索し、再生と持続可能な地域の構築に向けて取り組みを支援するとともに、趣旨に沿った取り組みを検討するまちづくり協議会がある場合は、その可能性を模索していく。							
具体的な施策	地域団体の活動促進、支援充実								
重要業績評価指標	地域活動団体の 育成数(団体)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		0	1	0	2	2	0	5	C
	年度ごとの到達目標値		3	3	3	3	3	15	33.3%
	「数値目標等に対する客観的評価		C	C	B	B	C		
	備 考	【市民主役のまちづくり支援事業】 H28年度：こもれびマルシェ(香我美) 長平ライダーカップ(香我美) H29年度以降：0団体、R2年度：ドライブスルーで夏祭り(野市) R3年度：0団体、 R4年度：里山で実りの秋ふれあい体験教室(野市) 香南市新グルメ販売計画(赤岡) R5年度：土佐風アートwithマルシェ岸本(香我美) フレスコボール四国地区大会・フレスコボール体験会 R6年度：なし							
	5年間の総括	新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、事業が中止となった時期もあったが、R4年度からは、香南市市民主役のまちづくり支援事業費補助金を活用した香南市産のシイタケを活用した新たなグルメ開発や土佐風のデザインコンペ、四国フレスコボール協会による体験会の実施等が行われる等、地域団体の活動が再開されている。 R6年度については、複数の団体から問合せがあったが申請には至らなかった。 また、市内の学校にも呼びかけを行ったが、申請に至らなかった。 今後もHP等で周知を行い、補助金を活用していただけるよう呼びかけていく。							

基本目標 4	時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる							4- - (1)	
基本的方向	【交流人口拡大】 地域と協働し、活動拠点としての集落活動センターの運営体制や組織の強化を図ります。また、歴史・食・体験等の地域資源活用等、交流人口の拡大のための拠点づくりや強化を進めます。 香南市の中山間地域の再生と持続可能な地域の構築に向けて、地域の活性化と振興に寄与する事業推進のため高等学校や大学と連携し、多様な分野で事業に取り組みます。								
具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)									
具体的な施策	高等学校・高知大学との連携								
重要業績評価指標	連携事業数 (事業)	基準値	実績値					最終目標値	第2期 (達成度合)
		30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	第2期	
		-	2	2	3	1	2	10	B
	年度ごとの到達目標値		2	2	3	3	3	13	76.9%
	「数値目標等に対する客観的評価		A	A	A	C	B		
	備考	R2年度：高知県立山田高等学校が地域課題研究学習で取り組む「高校生まちづくり提言」を実施。 R3年度： 高知県立城山高等学校放送部がYouTubeチャンネル「城高チャンネル」で、リニューアルオープンした天然色市場の取材を行い、地元の産物などの魅力の発信に取り組んだ。 また、高知県立山田高等学校が地域課題研究学習で取り組む「高校生まちづくり提言」を2月9日に実施。 R4年度： 高知県立山田高等学校が地域課題研究学習で取り組む「高校生まちづくり提言」をR5.2.8に実施。 「香南市中心市街地活性化計画」の策定にあたり、高知県立城山高等学校職員にもWSに参加いただいた。 香南市観光協会と高知県立城山高等学校が連携し、城山高校生がデザインとネーミングを考えた山北みかんとお茶のチップス商品「み・ちゃあ」を作成。(R4.6月) R5年度：高知県立山田高等学校が地域課題研究学習で取り組む「高校生まちづくり提言」をR6.2.6に実施。 R6年度：高知県立山田高等学校が地域課題研究学習で取り組む「高校生まちづくり提言」をR7.2.5に実施。 高知工業高等専門学校の地域協働演習において、6グループが香南市に関連する課題に取り組んだ。							
	5年間の総括	県立山田高校に通う香南市の1年生による「まちづくり提言」が毎年開催され、未来を担う若者の意見をいただくことができた。 R6年度においては、高知工業高等専門学校が地域協働演習で香南市に関連する課題に取り組み、あかおか駅の模型列車復活など成果があった。							
担当部局名	企画財政課・各支所・商工観光課・地域支援課				評価・検証 実施時期		令和7年3月末		